



平成 30 年 度

病 院 概 要

福 島 県 立 矢 吹 病 院

基本理念

仁愛・誠意・献身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

- 1 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
- 2 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
- 3 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
- 4 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
- 5 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組めます。
- 6 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
- 7 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。

目 次

1	沿 革	1
2	病院の概要	2
(1)	施設の状況	4
(2)	敷地・建物の状況	4
(3)	施設の配置図	5
(4)	施設の平面図	6
	管理棟1階	6
	管理棟2階	7
	作業療法棟、1病棟	8
	2病棟、旧3病棟	9
	3病棟	10
	元1病棟	11
	元2病棟	11
	生活療法棟	12
3	組織・職員配置	13
(1)	組織・機構	13
(2)	職員配置状況	14
(3)	院内設置各種委員会	15
4	財務状況	17
(1)	収支決算状況	17
(2)	経営分析	18
5	患者の状況	19
(1)	入退院及び外来患者の推移	19
(2)	入院患者の経費区分の推移	19
(3)	年度末入院形態別在院患者数の推移	19
(4)	疾患別性別入院患者数の推移	20
(5)	年齢別性別入院患者数の推移	21
(6)	入院患者の在院期間別割合の推移	22
(7)	平均在院日数の推移	23
(8)	在院期間別年度内退院患者の推移	23
(9)	保健所別入院患者数	23
(10)	その他のクリニカル・インジケーター（臨時指標）	23
6	医療関係業務実施状況	24
(1)	リハビリテーション組織	24
(2)	生活療法部	25
(3)	レクリエーション療法部	25
(4)	作業療法部	26
(5)	デイケア医療部	27
(6)	訪問看護ステーション	28
(7)	認知症疾患医療センター	30
(8)	心理社会療法部	30
(9)	栄養管理部	31
7	医療安全管理室	32
(1)	基本方針	32
(2)	医療安全の取り組み	32
8	医療ソーシャルワーク実施状況	33
(1)	面接活動等	33
(2)	その他	33
9	臨床検査実施状況	33
10	臨床心理業務実施状況	34
(1)	カウンセリング等心理療法的業務	34
(2)	心理検査	34
11	薬事の状況	35
12	給食実施状況	36
13	看護活動の状況	37
(1)	病棟別看護概要	37
(2)	院内教育実施状況	38
(3)	院外研修実施状況	40
14	児童思春期外来の実施状況	41
(1)	開設からの経緯	41
(2)	診療日・診療時間・担当医師	41
(3)	対象年齢・疾患	41
(4)	外来受診状況	41
15	地域医療連携の実施状況	42
(1)	業務内容	42
(2)	実施状況	42
16	他機関への協力・援助状況	42
(1)	学校関係	42
(2)	県関係	43
(3)	市町村関係	43
(4)	団体関係	43
(5)	講演会関係（医師）	43
(6)	院外研究発表	44
(7)	講演会関係（臨床心理室）	44
17	家族会活動状況	45
(1)	一般的活動	45
(2)	矢吹病院まつり開催協力	45

1 沿 革

昭和30年11月	県立矢吹精神病院（100床）として開設
昭和33年6月	病棟（38床）、管理診療棟増築
昭和34年8月	隔離病舎（20床）併設
昭和37年7月	病棟（55床）増築（旧6病棟）
昭和38年1月	福島県立矢吹病院と改称
昭和38年5月	病棟（55床）増築（旧7病棟）
昭和40年8月	病棟（50床）増築（旧8病棟）
昭和41年6月	病棟（50床）増築（旧10病棟）
昭和42年5月	看護婦宿舎（定員40名）新築
昭和42年6月	生活療法棟（体育館）新築
昭和47年12月	病床（60床）廃止、計288床
昭和49年3月	精神科作業療法実施承認
昭和50年4月	歯科診療開始
昭和54年1月	病院整備基本構想作成委託
昭和55年5月	病院改築工事設計委託
昭和56年4月	旧8、10病棟（元1、2病棟）をそれぞれ50→44床に定数減
昭和57年8月	病院改築工事（第1期）竣工
昭和57年8月	元3病棟（現2病棟、50床）、5病棟（現5病棟、62床）、6病棟（現1病棟、50床）、7病棟（現3病棟、50床）使用許可
	旧1、2、3、6、7病棟廃止
昭和58年3月	隔離病舎廃止、計300床
昭和59年3月	病院改築工事（第2期）竣工
平成3年4月	精神科デイケア（大規模）承認
平成5年2月	元3病棟（現2病棟）一部改造工事竣工（病室2室（8床）を保護室2室（2床）、静養室2室（2床）に改造）
平成5年4月	病床数の変更（許可病床数300→296床、運用病床数280→242床）
	元2病棟閉鎖
	看護体制の変更（6看護体制→5看護体制）
平成8年4月	精神科訪問看護実施
平成9年1月	入院時食事療養特別管理加算届出受理
平成12年3月	日本医療機能評価機構（精神病院種別A）認定
平成12年4月	元6病棟（現1病棟）一部改築工事竣工（病室4室（16床）を静養室8室（8床）に改造、保護室8室と救急外来を増設）
	元1病棟閉鎖
	看護体制の変更（5看護体制→4看護体制）
	病床数の変更（許可病床数296→295床、運用病床数242→206床）
	精神科病棟入院基本料3（看護配置加算10：1看護補助加算）届出受理
平成14年7月	精神科応急入院病院に指定（平成15年9月辞退）
平成15年9月	病床数の変更（許可病床数295→294床）
平成15年10月	臨床研修病院に指定（27日付医政第1027004号、施設番号031283）
平成17年5月	日本医療機能評価機構（精神科病院）認定更新
平成17年7月	心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関に指定（15日付第33号）
平成18年4月	精神科病棟入院基本料15対1（看護配置加算、15対1看護補助加算）届出受理
平成19年9月	内科外来開設
平成20年1月	病床数の変更（許可病床数294→206床）
平成22年6月	日本医療機能評価機構（精神科病院）認定更新
平成23年8月	児童思春期外来開設
平成24年1月	精神科応急入院指定病院に指定
平成27年4月	元3病棟休止
	看護体制の変更（4看護体制→3看護体制）
	病床数の変更（運用病床数206→156床）
平成27年8月	病床数の変更（許可病床数206→199床）（運用病床数156→149床）
平成28年3月	精神科急性期治療病棟入院料（1病棟）の届出
平成28年12月	精神科急性期医師配置加算（1病棟）の届出
平成29年4月	訪問看護ステーションのびのび開設
平成29年6月	認知症患者医療センター指定
平成30年3月	病床数の変更（許可病床数199→196床）（運用病床数149→146床）

2 病院の概要

当病院は、昭和30年11月1日精神衛生法に基づき福島県立矢吹精神病院（100床）として開設された。開設当時から社会復帰に治療の重点を置き、作業療法の充実を図り、昭和49年3月には精神科作業療法の実施承認を受けた。また、昭和52年には全国に先駆けて当地に障害者の社会的自立を援助することを目的とした白河地方職親連絡協議会が設立された。翌53年には、その協力のもとに矢吹病院家族会（昭和45年設立）が共同居住施設「あけぼの荘」（平成8年グループホームに認定）を開設し社会復帰の促進に向けて援助活動を開始した。悲願であった病院改築工事が3年の歳月をかけて昭和59年に完了し、当病院はより人間的な生活空間とリハビリ施設を持った新しい姿に生まれ変わった。

精神保健法の時代に入った平成3年4月、県内で最初に精神科デイケア（大規模）の実施承認を受けた。また、平成5年4月には病棟を一部改修して6看護体制を5看護体制に再編成した結果、男子・女子閉鎖病棟の三人夜勤体制が組めるようになり、夜間のマンパワー確保が可能になった。更に、平成8年4月から遅ればせながらも精神科訪問看護を開始し、また、平成9年1月には適時適温給食（夕食6時配膳）を提供する事が出来るようになった。

入院治療環境を整えながら外来治療へ、そして地域医療へと、常に一步先を見据えて試行錯誤してきた当院の歴史的流れの中で、デイケアと訪問看護の充実による再発予防体制の整備に傾注していた矢先の平成9年2月、県当局から第三次福島県立病院事業経営長期計画が提示された。一次・二次長期計画は民間精神病院をリードし得るモデル的精神医療の追求を認めるものであったのに対し、この三次長期計画は当病院の役割を①精神科救急医療・処遇困難患者の受け入れ等に特定し、入院患者の減少を理由に②病棟再編成（5看護体制から4看護体制に再編成）を行うという病院経営の赤字対策が前面に打ち出されたものであった。

策定された第三次長期計画に基づき、民間コンサルタントによる病院経営診断（平成10年度）を経て平成11年度からコンサルタント指導型の経営改善作業が開始されたが、その最中の平成11年7月、今度は「日本医療機能評価機構」の病院機能評価（精神A）受審の指示が県より下された。短い準備期間にも拘らず平成12年1月の訪問審査を経て翌2月に無事認定（平成22年12月3度目の認定更新）を受けると共に、この経過中に第三次長計①対応の為の保護室増設工事（平成12年4月供用開始）と、②の病棟再編成（5→4看護体制）を行うことができた。

しかし、その後も悪化の一途を辿る県立病院事業会計に対し、県は全ての県立病院に対して包括外部監査を実施（平成15年3月結果公表）し、県立病院事業改革委員会の設置、県立病院改革審議会の招集、県立病院改革実行方策の策定と矢継ぎ早の動きを展開し、平成19年3月で2病院を地元自治体に1病院を民間に移譲するとともに、別の2病院を統合・新築する方針を決定（平成25年5月会津医療センターとして開設済み）した。

一方で、存続が認められた病院には診療機能の充実と強化が求められ、各病院の長期経営計画案を基に病院局は平成19年3月「福島県病院事業経営改善計画」を策定した。これに則り同年5月に組織された「経営戦略会議」と8月に発足した外部有識者による「経営評価委員会」を車の両輪として、経営改善への更なる取り組みが開始された。直後の平成19年12月に国は「公立病院改革ガイドライン」を公表し、各自治体に病院経営改善のための『改革プラン』の策定を求めてきた。その後一年以上の時間をかけて策定された本県の改革プランは、平成21年5月の経営評価委員会と県立病院改革審議会での承認を受けてスタートするに至った。途中で東日本大震災と原発事故（平成23年3月）に見舞われたものの、一応の成果を得て平成25年度をもってこの改革プランは終了した。しかし、達成不十分な課題や震災復興関連の懸案事項を鑑み、県は独自に『新改革プラン』を作成し、引き続き平成26年度から3年間の予定で実践を開始した。その3年目にあたる平成28年度は、病院運営に関して非常に大きな動きが生じ

た年となった。即ち、当院改革の三本柱（①医療観察法病棟整備②児童・思春期外来開設③アウトリーチ型医療の導入検討）の中で、唯一未着手であった医療観察法病棟整備が動き出したのである。それまで町（議会）の承諾を得られずに暗礁に乗り上げたままであったが、児童・思春期医療や救急・アウトリーチ医療を前面に出した病院全面改築案を提示し、先進病医視察を含めて根気強い説明を重ねた結果この課題が一気に動き始めた。その後、議会（県・町）の承認が得られ、医療観察法病棟を含めた改築基本構想の策定が始まり、終了する新改革プランに代わって病院改築も盛り込まれた4年計画の「新たな県立病院改革プラン」が昨年4月からスタートするに至った。

新たなプラン1年目の昨年度は、『最先端の精神科病院を目指した機能強化（全面建替え）』を目標として先ず病院改築プロジェクトチームを立ち上げるところから始まった。病院局とコンサルを加えた同チームにおいて新病院の理念・機能・規模・方向性などを急ピッチで検討を重ね、平成29年9月には「福島県立こころの医療センター（仮称）基本計画」をまとめ上げた。それをもとに今年度は設計に向けた具体的な動きが始まったところであり、この6月からは実施設計に入れる見込みとなっている。

思えば、東日本大震災とその後の医師の相次ぐ異動を契機に当院は大きく変貌を遂げてきている。医師数の増加、年間入院患者数の増加、新患（とりわけ児童・思春期）患者数の増加、平均在院日数の減少、そして病院全面改築構想の始動である。3.11までは施設と変わらないような病院だったことを思えば、何が幸いするか分からないというのが正直なところである。一方で福島県は、3.11から7年以上経過した現在においても地震・津波・原発事故・風評被害の後遺症から未だ立ち直れていない現状にあり、つい悲観的になってしまいがちだが、福島県の復興のため病院職員が一丸となり、もう一度新たな気持ちで前を向いて歩んで行きたいと強く思う次第である。

平成30年6月

病院長 横山 昇

2 - (1) 施設の状況

所在地 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100番地
 開設年月日 昭和30年11月1日（開設者：福島県病院事業管理者）
 診療科目 精神科、内科（歯科：週1回委託診療）
 許可病床 196床（運用146床、3看護単位）
 普通病室158床、保護室14床（1病棟8床、2病棟6床）、
 静養室14床（1病棟8床、2病棟11床）、社会復帰室5床（3病棟）
 基準サービス 精神科急性期治療病棟入院料（1病棟：平成28年3月届出受理）
 精神科急性期医師配置加算（1病棟：平成28年12月届出受理）
 精神病棟入院基本料15対1（2・3病棟：平成18年4月届出受理）
 ～看護配置加算、看護補助加算1～

2 - (2) 敷地・建物の状況

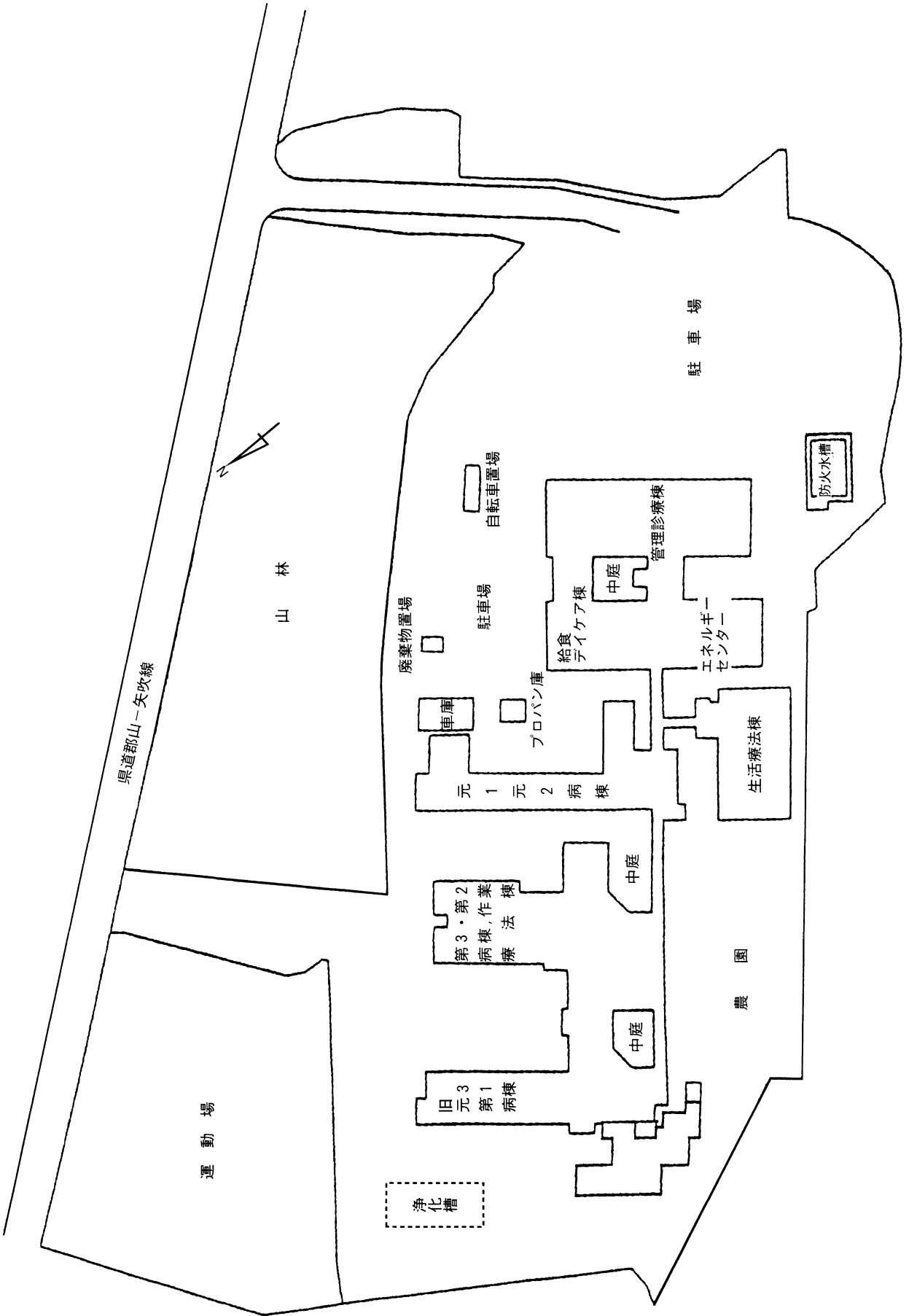
- ① 敷地面積 45,859㎡（うち借地 10,131㎡）
- ② 建物面積 7,294㎡、延床面積 13,246㎡

【内訳】

平成30年6月1日現在

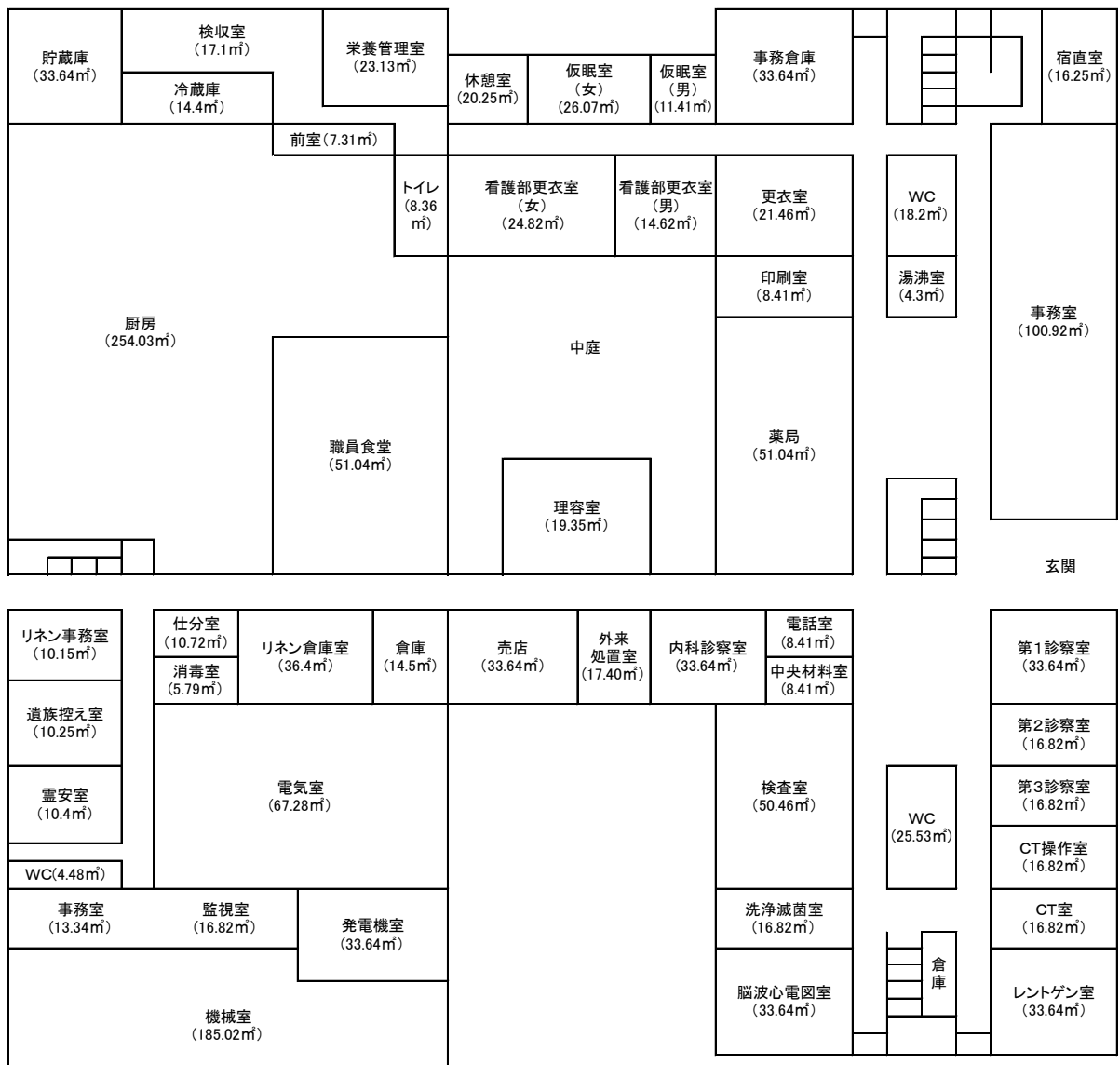
建物区分	完成年度	構造	主な用途	建築面積	延床面積
管理棟 診療棟	S.58	鉄筋コンクリート造 2階建	1 F. 事務部、外来診察室、 薬局、検査室、売店、 エネルギーセンター等 2 F. デイケア室、会議室、 研修室、図書室、 医療福祉相談室、 地域医療連携室	管理部門 1,670㎡ 診療部門 420㎡	4,513㎡
病棟 (元1, 2) (廃止)	S.40	鉄筋コンクリート造 2階建	1 F. 元1病棟（廃止） 2 F. 元2病棟（廃止）	病棟部門 992㎡ (廃止)	1,798㎡
病棟 (1, 2, 3) 作業療法棟	S.57	鉄筋コンクリート造 2、3階建	1 F. 作業療法棟 1 F. 1病棟 2 F. 2、元3病棟（休止中） 3 F. 3病棟	診療部門 1,153㎡	6,145㎡
	H.11		1 F. 保護室、救急外来	病棟部門 2,204㎡	
生活療法棟	S.42	鉄筋コンクリート造 平屋建	主にデイケア	診療部門 608㎡	608㎡
車庫棟	S.58	鉄骨造平屋建	車庫	管理部門 128㎡	128㎡
その他建物	S.58		ボンベ室、自転車置き場 グランド便所	管理部門 54㎡	54㎡
			・管理部門	1,917㎡	
			・診療部門	2,181㎡	
			・病棟部門	3,196㎡	

2-(3) 施設の配置図

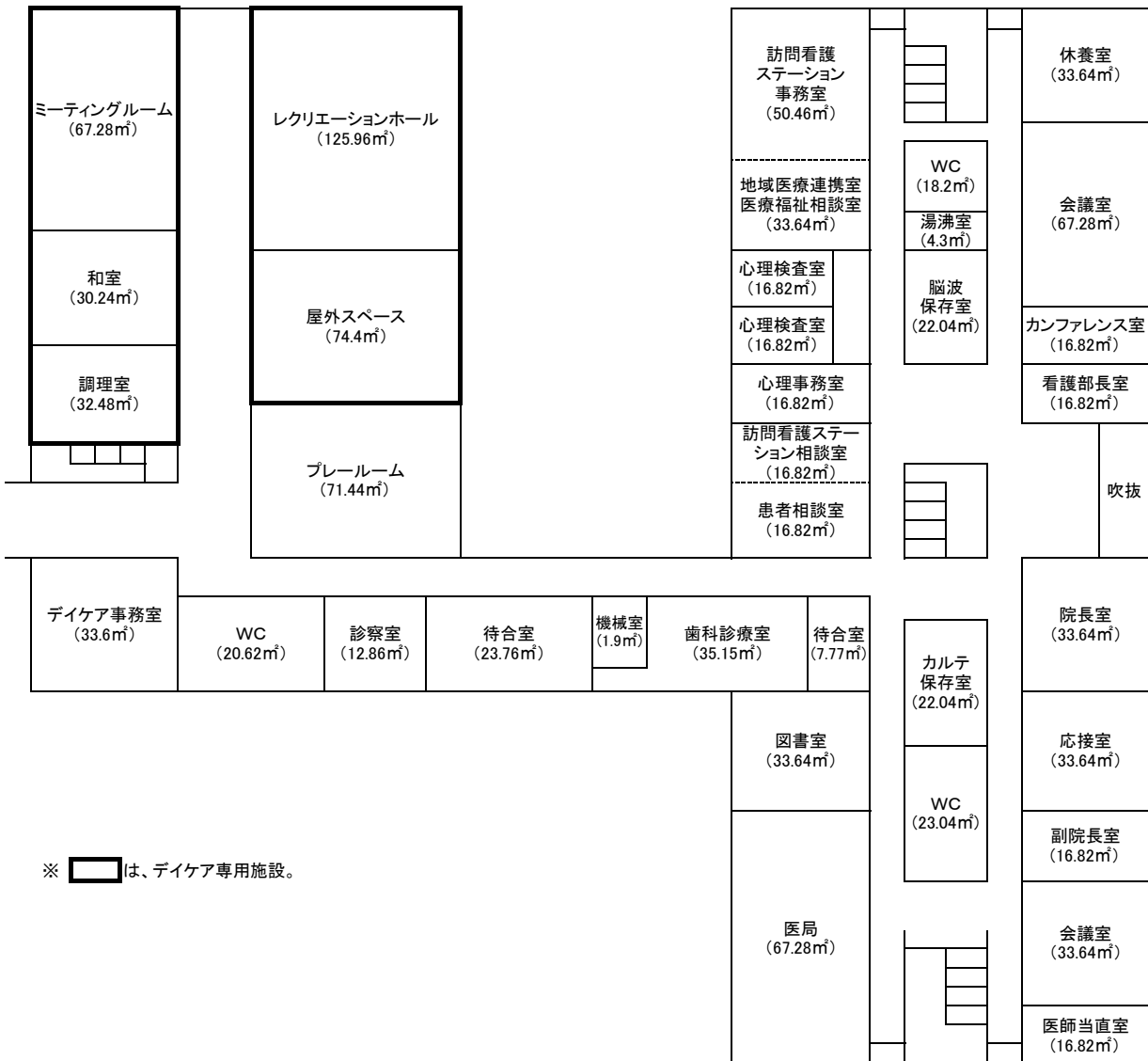


2 - (4) 施設の平面図

管理棟1階

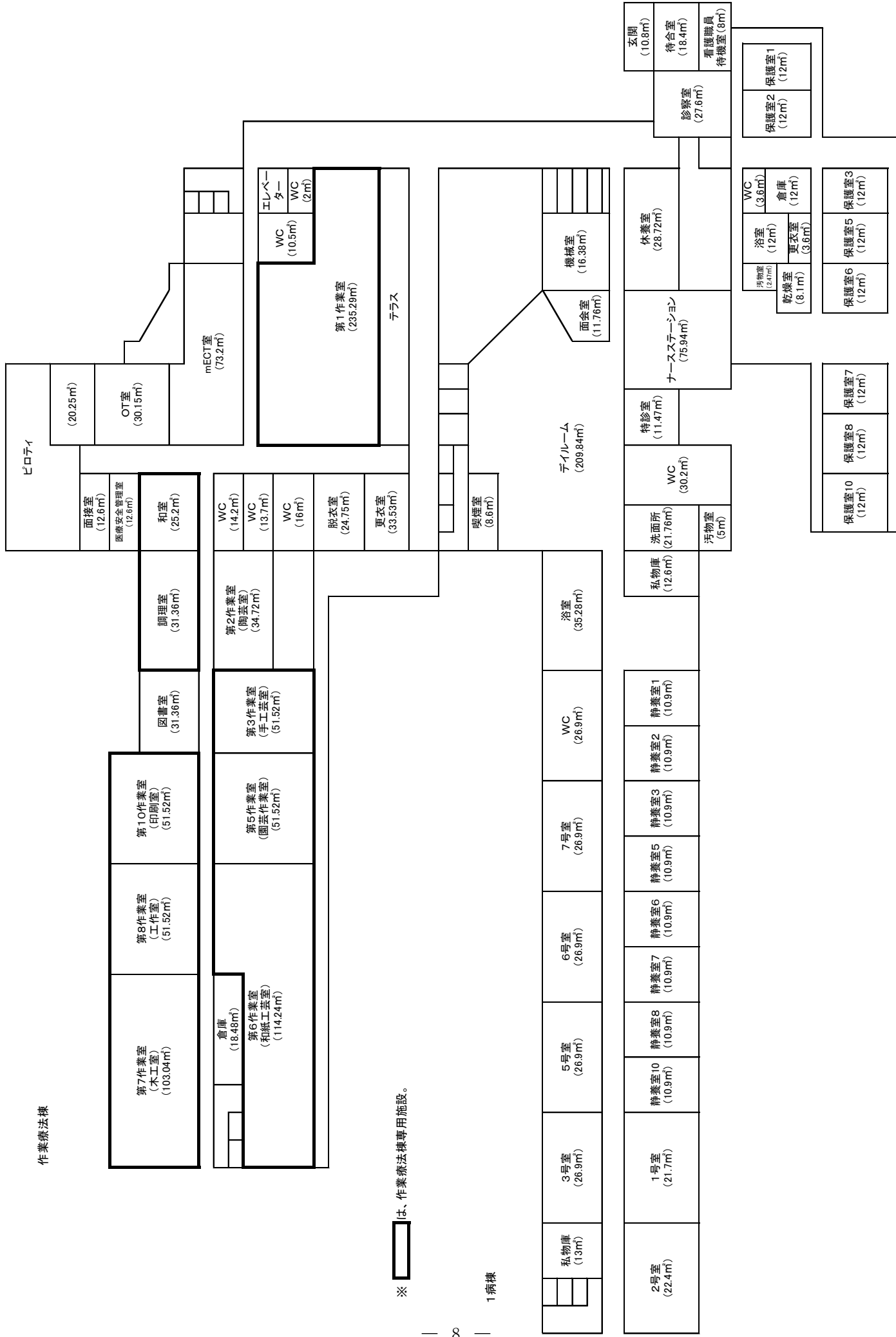


管理棟2階



※ は、ダイエタ専用施設。

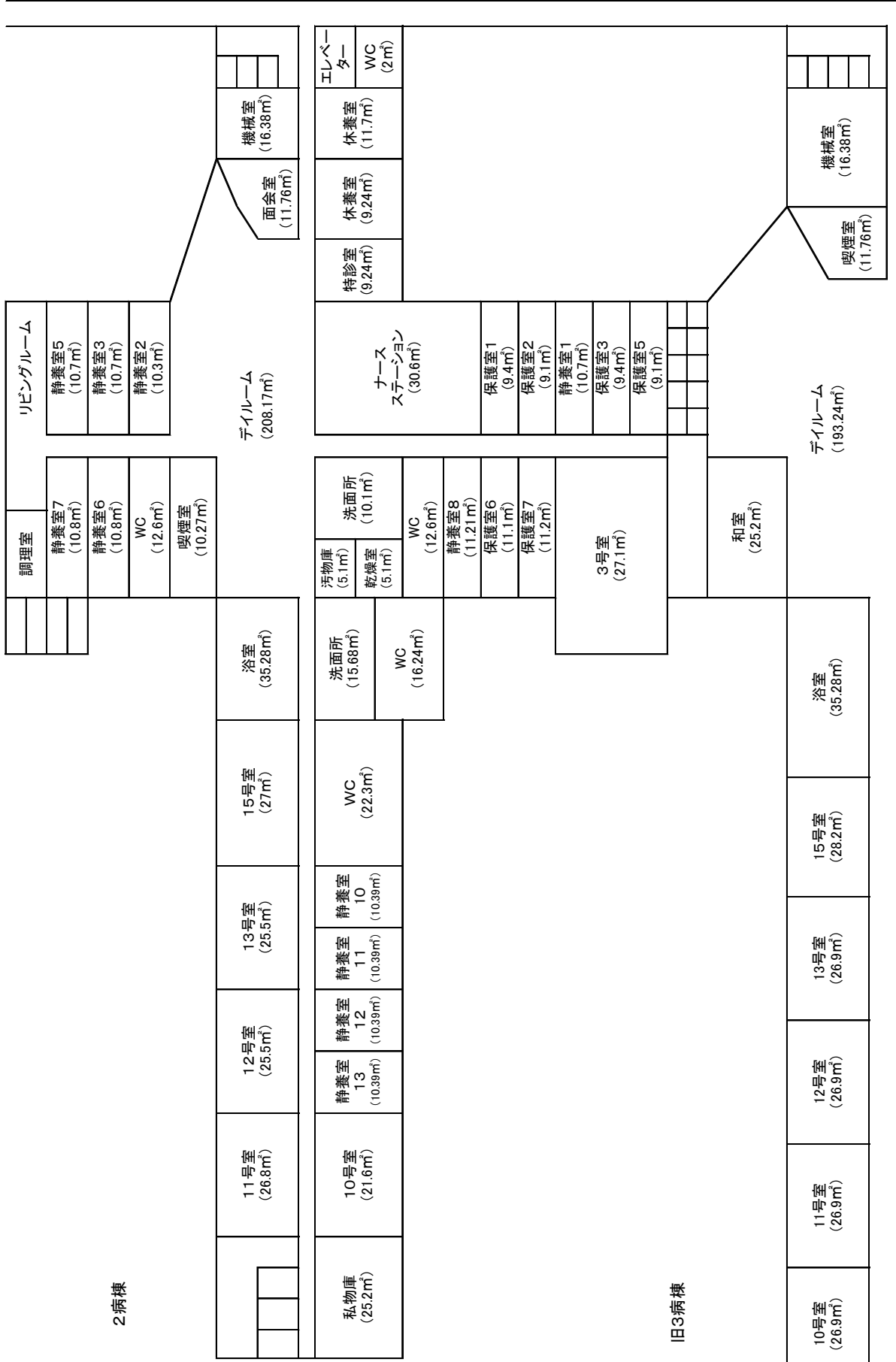
作業療法棟



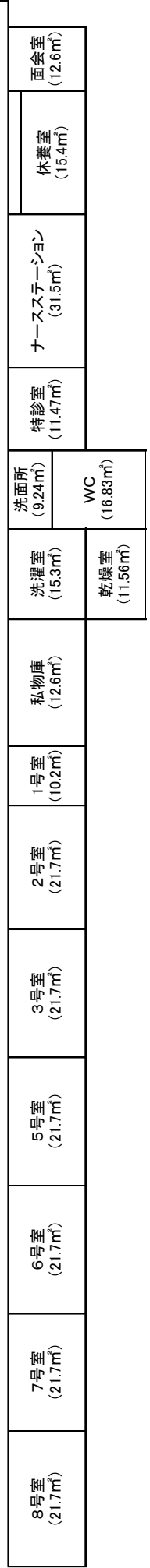
※ は、作業療法棟専用施設。

1 病棟

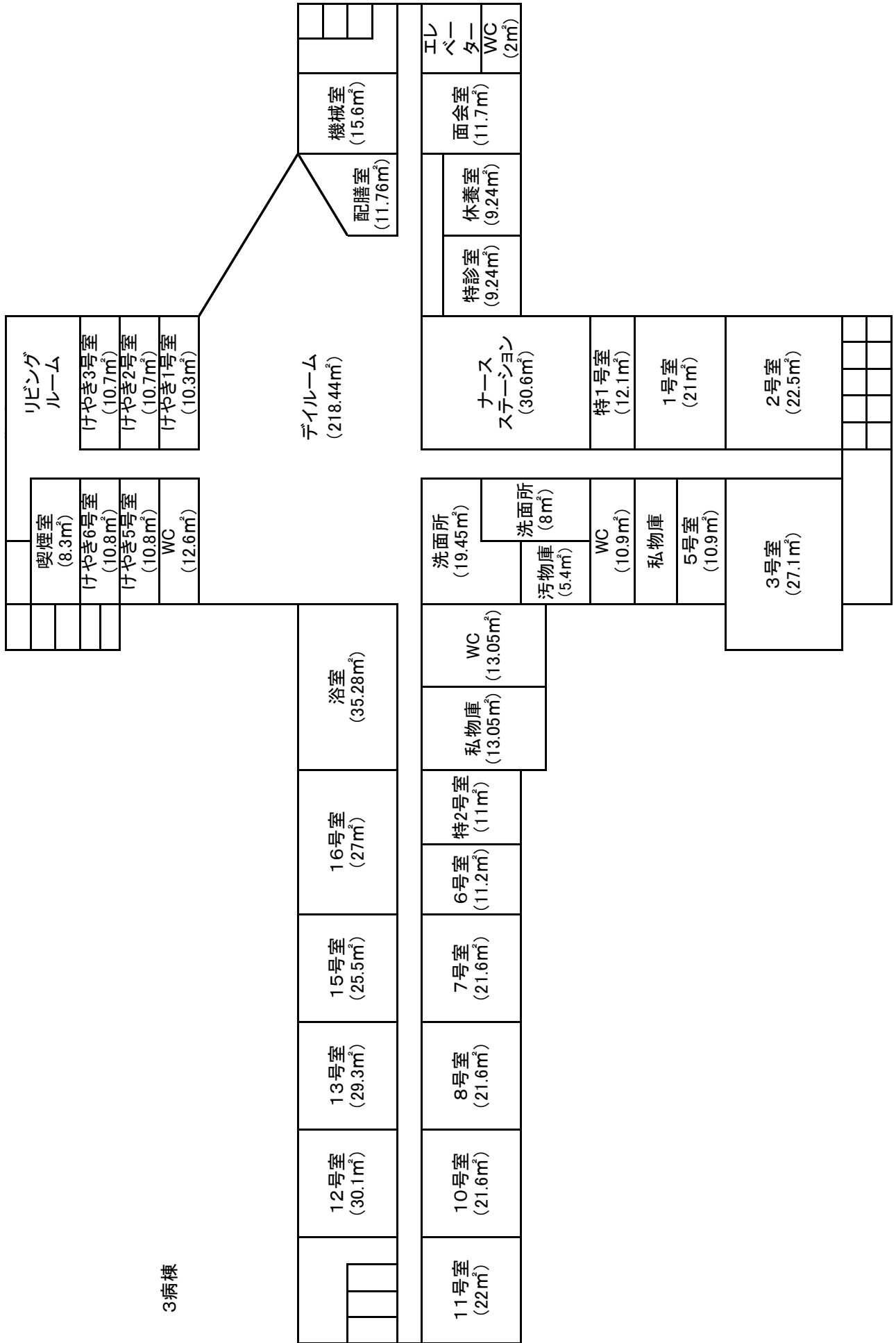
2病棟



旧3病棟

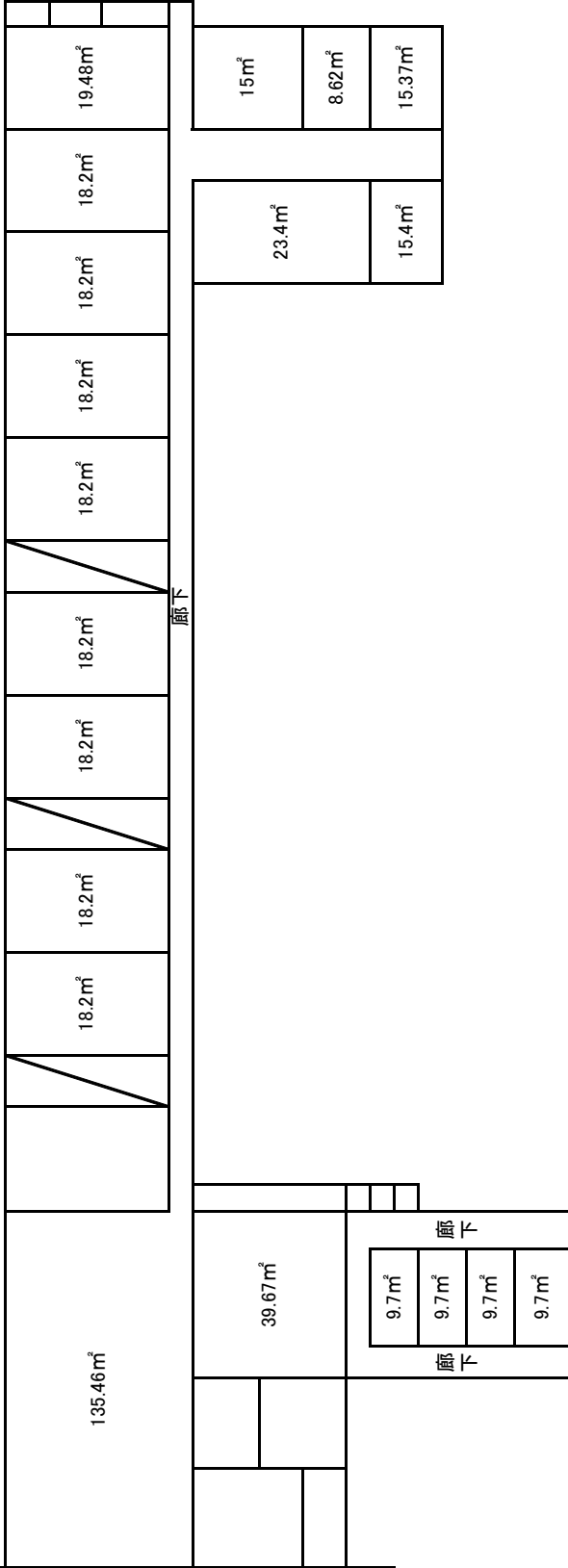


3病棟



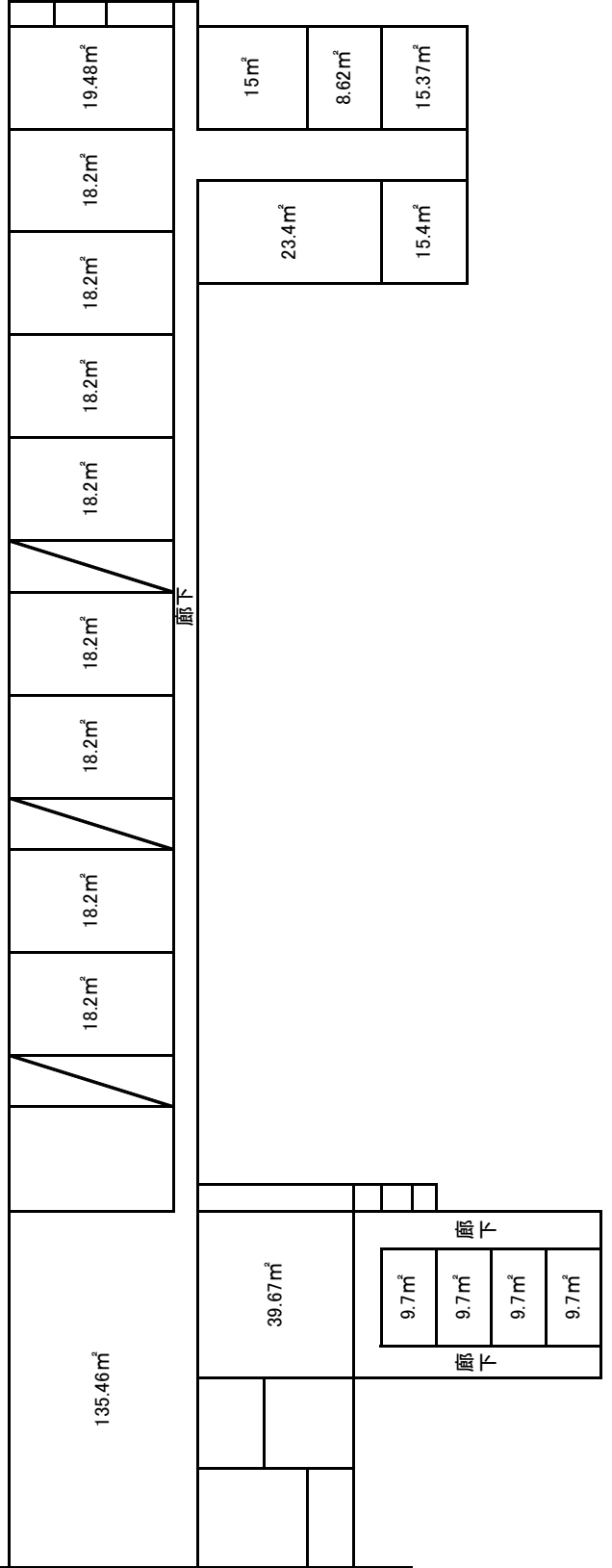
元1病棟

私物庫 (15.47㎡)	
私物庫 (15.47㎡)	
倉庫 (9.37㎡)	
WC (6㎡)	
下足室 (6.19㎡)	

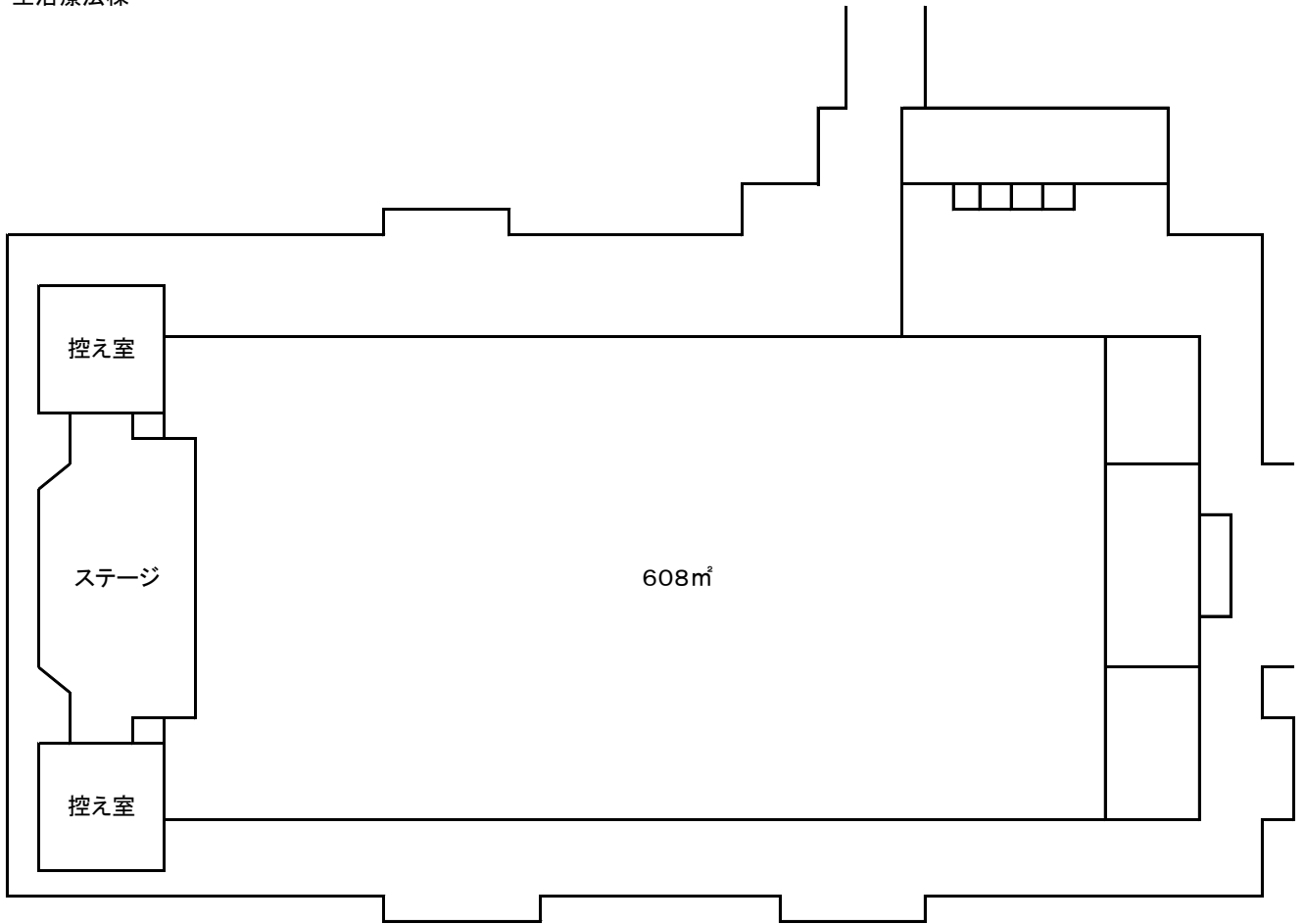


元2病棟

私物庫 (15.47㎡)	
私物庫 (15.47㎡)	
面会室 (9.37㎡)	
シャワー室 (6㎡)	
下足室 (6.19㎡)	



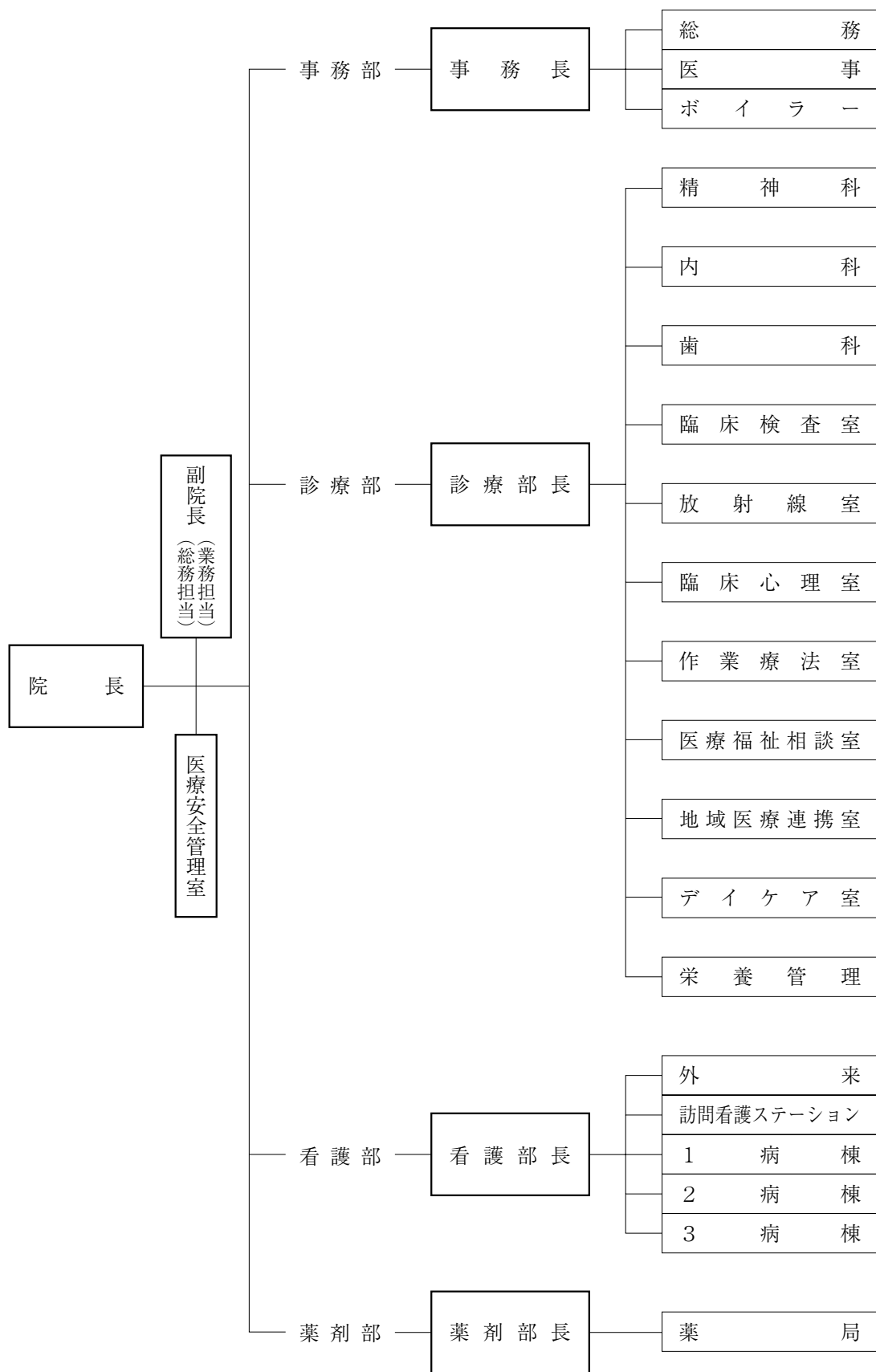
生活療法棟



3 組織・職員配置

3-1 組織・機構

平成30年6月1日現在



3 - (2) 職員配置状況

平成30年6月1日現在

職 種	区 分	定 数 職 員			嘱・委 託職員	定数外 職 員	合 計
		事務吏員	技術吏員	技労職員			
事 務 部	一 般 事 務	4				2	6
	医 事 事 務	2			2	1	5
	ボイラー技士			1			1
診 療 部	精 神 科 医 師		7				7
	内 科 医 師		1				1
	歯 科 医 師				1		1
	医 療 相 談 員	5				2	7
	作 業 療 法 士		5				5
	検 査 技 師		2			2	4
	放 射 線 技 師		1				1
	心 理 判 定 員		3			1	4
	看 護 師		5				5
	栄 養 士		2				2
	調 理 員			2		13	15
	給 食 員						0
看 護 部	看 護 師		82			3	85
	准 看 護 師		2			4	6
	看 護 助 手						0
薬 劑 部	薬 剤 師		3				3
	薬 事 事 務					1	1
合 計		11	113	3	3	29	159

※診療部の看護師（デイケア3・地域医療連携室2 計5名）

【看護部職員配置】

職 種	区 分	看 護 師		准看護師		看護助手		合 計
		男	女	男	女	男	女	
1	病 棟	10	13	1	1			25
2	病 棟	8	16	1	1			26
3	病 棟	3	14	1	1			19
	外 来	3	9					12
	訪問看護ステーション	3	6					9
合 計		27	58	3	3			91

平成30年3月31日現在

※入院患者	
定 床	実数
1病棟 (44)	31
2病棟 (45)	26
3病棟 (57)	42
146	99

3 - (3) 院内設置各種委員会

平成30年6月1日現在

① 法令等によるもの

ア 経営改善委員会（月1回開催）

病院経営の改善策を検討し患者サービスの向上と病院の合理的な管理経営の実現を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任

イ 衛生委員会（年4回開催）

職員の健康管理及び健康保持増進対策並びに公務災害の防止対策等を図る。

【構成】 院長、副院長（健康管理医）、衛生管理者、事務長、事務次長、矢吹病院分会代表3名、事務部総務

ウ 薬事委員会（年4回開催）

医薬品等取扱業務の適正かつ効率的な運営方法等を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員

エ 医療安全管理委員会（毎月第3月曜日開催）

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任、各看護師長、各部門主任

オ 院内感染対策委員会（毎月第3火曜日開催）

院内における感染症の予防の効果的、効率的な執行を図る。

【構成】 副院長（総務・業務）、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、各看護師長、各部門主任

カ 防災対策委員会（随時開催）

火災、震災、その他の災害の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図る。

【構成】 主任者会議構成メンバーに同じ

キ 医療ガス安全管理委員会（随時開催）

医療ガスの安全な管理を図る。

【構成】 副院長（総務）、事務長、看護部長、薬剤部長、各病棟

ク 栄養管理委員会（年4回開催）

患者に対し療養上必要な栄養管理を適切な形態において行う。

【構成】 副院長（業務）、事務次長、看護部長、各病棟看護師長、デイケア、OT、薬剤、栄養管理主任、栄養管理栄養技師

ケ 器械備品整備計画調整会議（随時開催）

器械備品の整備に関し、適正な執行を図る。

【構成】 経営改善委員会構成メンバーに同じ

コ 行動制限最小化委員会（月1回開催）

入院中の患者の行動制限の適切性及び妥当性を検討し基本的人権を擁護する。

【構成】 副院長（総務）、看護部長、精神保健福祉士、事務部医事主任、各病棟師長、医療安全室、行動制限最小化認定看護師

サ 褥瘡対策委員会（年4回開催）

褥瘡対策の効率的な推進を図る。

【構成】 医師、看護部長、各病棟褥瘡対策専任看護師、薬剤、栄養管理、事務部医事主任

シ クロザリル運営委員会（年1回開催）

治療抵抗性統合失調症治療薬クロザリルの適正使用及び患者の安全確保を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員、医療安全室、検査主任、連携主任、外来看護師長、各病棟看護師長、認定看護師

② 病院独自に設置しているもの

ア 主任者会議（毎月第3月曜日開催）

各部門への指示・連絡及び各部門の意見・連絡調整を行い、円滑な病院運営を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員、各看護師長、各部門主任

イ 研究倫理委員会（随時開催）

当院の研究者等が人間を対象とした研究及び医療行為を行う場合、倫理的配慮を図る。

【構成】 副院長（総務）、事務長、看護部長、医学分野以外の学識経験者2名

ウ 患者サービス向上委員会（2ヶ月1回開催）

当院における患者サービス及び院内環境の向上を図る。

【構成】 副院長（総務）、看護部長、医師、薬剤部、医療安全室、作業療法士、医療相談員、デイケア、外来・各病棟看護師長、看護部看護師長、事務次長、事務部総務・医事

エ コンプライアンス委員会（随時開催）

当院における職員の法令遵守の意識の高揚を図る。

【構成】 主任者会議構成メンバーに同じ

オ 輸血療法委員会（随時開催）

輸血療法に関する事項を検討し、診療体制の確立に寄与する。

【構成】 副院長（業務）、薬剤部、事務部医事主任、医療安全室、検査室、3病棟師長

カ 病院改築プロジェクトチーム（毎月1回開催）

精神医療の充実強化及び病院の全面建替の検討を行う。

【構成】 院長、副院長（総務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、事務部医事主任、看護部看護師長、デイケア室、心理、訪問看護、3病棟師長、2病棟

キ 教育・研修委員会（年4回開催）

教育・研修計画を検討し、先進的な精神医療を提供できる人材を育成する。

【構成】 院長、副院長（総務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、教育担当師長、心理、医療相談、デイケア

ク 広報検討チーム

広報を推進し、広く病院の活動を周知し理解の促進を図る。

【構成】 院長、医師、事務次長、作業療法室、臨床心理室、医療福祉相談室、訪問看護ステーション、外来、病棟、事務部担当

4 財務状況

4-1 収支決算状況

(単位：千円)
(税込)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
病院事業収益	1,731,393	1,829,106	1,709,108	1,742,300	1,689,100	1,739,779	1,730,601	1,713,526	1,677,829	1,748,502
医業収益	969,855	1,061,653	951,776	1,096,093	984,203	1,038,257	920,589	924,611	961,791	943,970
入院収益	744,893	714,950	702,701	829,214	692,378	686,593	665,739	625,567	660,101	667,395
外来収益	162,326	162,874	156,412	162,204	167,534	172,960	177,965	192,414	185,631	150,495
その他医業収益	62,636	183,829	92,662	104,675	124,290	178,704	76,885	106,630	116,059	126,080
医業外収益	758,248	758,894	756,266	645,890	704,122	699,596	809,267	786,309	715,602	804,445
補助金・負担金	756,694	756,253	754,600	644,371	701,298	697,640	767,936	742,270	657,365	749,565
患者外給食収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他医業外収益	1,554	2,641	1,666	1,519	2,815	1,956	41,331	4,663	8,825	8,617
特別利益	3,290	8,559	1,067	317	775	1,926	745	2,605	436	87
病院事業費用	1,731,393	1,829,106	1,709,108	1,742,300	1,689,100	1,739,779	1,770,383	1,713,526	1,677,829	1,748,503
医業費用	1,706,279	1,804,675	1,686,467	1,720,210	1,678,571	1,731,833	1,652,665	1,686,187	1,671,909	1,712,439
給与	1,271,993	1,377,826	1,250,429	1,265,690	1,258,701	1,315,593	1,217,260	1,262,431	1,233,771	1,322,267
材料	169,600	170,105	163,082	183,727	169,041	174,680	174,826	178,256	157,120	87,839
経費	137,836	140,396	138,061	149,579	138,423	144,743	155,949	142,389	158,796	178,014
減価償却	110,954	95,168	116,562	90,623	91,932	75,684	81,975	79,656	89,531	81,142
資産減耗	1,778	6,252	4,532	15,126	3,204	1,229	3,486	2,617	7,309	2,401
研究	14,118	14,928	13,800	15,465	17,199	19,904	19,169	20,338	24,746	40,776
医業外費用	24,179	23,207	22,386	20,829	7,486	6,442	5,216	4,520	5,220	3,458
支払利息	12,199	11,227	10,406	8,849	7,486	6,442	5,216	4,520	3,842	3,199
繰延勘定償却	11,980	11,980	11,980	11,980	0	0	0	0	0	0
特別損失	935	1,224	255	1,261	3,044	1,504	112,502	22,818	699	32,605

(単位：千円)
(税抜き後)

項目	算式	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
病床利用率(%)	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	74.4	70.6	69.2	79.5	66.9	65.3	62.1	78.6	78.6	73.0
入院外来患者比率(%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	27.7	27.9	28.5	24.1	30.3	30.2	31.6	35.4	38.8	50.6
患者一人一日当り医療収入	入院(円)	13,310	13,469	13,504	13,839	13,746	13,992	14,264	14,343	15,445	16,815
	外来(円)	10,455	10,983	10,553	11,224	10,959	11,678	12,046	12,438	11,191	7,497
患者一人一日当り薬品費	$\frac{\text{薬品費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	1,616	1,746	1,691	1,719	1,822	1,931	2,030	2,191	1,835	705
入院患者一人一日当りの給食材料費	$\frac{\text{患者給食材料費}}{\text{年延入院患者数}}$	779	795	766	723	753	774	815	850	858	859
医療収益に対する職員給与費の割合(%)	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医療収益}} \times 100$	131.2	129.8	131.4	115.5	127.9	126.7	132.2	136.5	128.5	140.1
病床百床当り職員数(人)	$\frac{\text{年度末職員数}}{\text{運用病床数}} \times 100$	73.3	63.9	60.6	60.3	61.9	62.4	62.1	89.4	91.6	98.0

4-(2) 経営分析

5 患者の状況

5- (1) 入退院及び外来患者の推移

区 分 年 度	入 院						外 来		
	病床数	入 院 患者数	退 院 患者数	延入院 患者数	一日平均 入院患者数	病 床 利用率	新 患 患者数	延外来 患者数	一日平均 外来患者数
平成20年度	206	51	69	55,966	153.3	74.4	366	15,518	63.9
平成21年度	206	47	50	53,083	145.4	70.6	323	14,821	61.2
平成22年度	206	105	64	52,035	142.6	69.2	270	13,814	56.8
平成23年度	206	96	133	59,917	163.7	79.5	434	14,451	59.2
平成24年度	206	80	93	50,368	138.0	67.0	427	15,281	62.3
平成25年度	206	130	135	49,071	134.4	65.3	205	14,804	60.7
平成26年度	206	140	137	46,673	127.9	62.1	211	14,762	60.5
平成27年度	149	160	180	43,613	119.2	78.6	293	15,454	63.6
平成28年度	149	189	194	42,739	117.1	78.6	251	16,571	68.2
平成29年度	146	208	216	39,691	108.7	73.0	383	20,065	82.2

※外来新患者数は、平成24年度までは一部初診も含んだ患者数で平成25年度以降は、新患のみの患者数である。

5- (2) 入院患者の経費区分の推移

各年度3月31日現在、 単位：人、()内は%

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
精神保健法	4(2.7)	4(2.8)	6(3.3)	1(0.8)	5(3.7)	3(2.3)	2(1.5)	2(1.8)	2(1.9)	1(1.0)
生活保護法	9(6.2)	8(5.6)	17(9.2)	8(5.4)	7(5.2)	15(11.6)	11(8.3)	16(14.3)	15(14.0)	13(13.1)
国 保	87(59.6)	90(62.9)	111(60.3)	99(67.3)	84(62.7)	77(59.7)	84(63.3)	68(60.7)	64(59.8)	63(63.7)
社 保	13(8.9)	12(8.4)	21(11.4)	14(9.5)	17(12.7)	14(10.9)	12(9.1)	12(10.7)	10(9.3)	10(10.1)
後期高齢者医療	33(22.6)	29(20.3)	29(15.8)	25(17.0)	21(15.7)	19(14.7)	21(15.9)	14(12.5)	16(15.0)	12(12.1)
そ の 他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.8)	2(1.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
合 計	146(100)	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	132(100)	112(100)	107(100)	99(100)

5- (3) 年度末入院形態別在院患者数の推移

各年度3月31日現在、 単位：人、()内は%

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
任意入院	67(45.9)	57(39.9)	89(48.4)	59(40.1)	44(32.8)	53(41.1)	51(38.6)	44(39.3)	46(43.0)	28(28.3)
医療保護入院	75(51.4)	82(57.3)	89(48.4)	87(59.2)	85(63.5)	72(55.8)	77(58.3)	66(58.9)	59(55.1)	70(70.7)
措置入院	4(2.7)	4(2.8)	6(3.2)	1(0.7)	5(3.7)	3(2.3)	2(1.5)	2(1.8)	2(1.9)	1(1.0)
緊急措置入院	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
そ の 他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.8)	2(1.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
合 計	146(100)	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	132(100)	112(100)	107(100)	99(100)

5-(4) 疾患別性別入院患者数の推移

各年度3月31日現在、単位：人、()内は%

統 合 失 調 症 (F2)	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	男	女	計	計	計	計	計	計	計	計	計
躁 う つ 病 (F3)	6	3	9 (6.2)	8 (4.4)	7 (4.7)	6 (4.5)	7 (5.4)	10 (7.6)	2 (1.8)	6 (5.6)	3 (3.0)
	0	0	0	1	2	1	2	2	3	1	4
	2	1	3 (2.1)	0	0	1	1	2	1	2	5
脳 器 質 性 精 神 病 (F0)	2	1	3 (2.1)	1 (0.5)	2 (1.4)	2 (1.5)	3 (2.3)	4 (3.0)	4 (3.6)	3 (2.8)	9 (9.1)
	0	0	0	3	1	2	2	2	1	2	2
	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
中 毒 性 精 神 病 (F1)	0	0	0	3 (1.6)	1 (0.7)	2 (1.5)	2 (1.6)	3 (2.3)	1 (0.9)	2 (1.9)	2 (2.0)
	0	0	0	0	2	2	2	2	3	8	3
	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	2
そ の 他 の 精 神 病	0	0	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	3 (2.2)	3 (2.3)	3 (2.3)	4 (3.6)	13 (12.1)	5 (5.1)
	3	4	7 (5.1)	4	4	3	5	5	4	1	3
	1	3	4 (2.9)	2	2	4	1	4	3	3	2
精 神 発 達 遅 滞 (F7)	4	6	10 (7.3)	6 (3.3)	6 (4.1)	7 (5.2)	6 (4.7)	9 (6.8)	7 (6.2)	4 (3.7)	5 (5.1)
	2	0	2 (1.4)	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人 格 障 害 (F6)	2	2	4 (2.9)	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	2	4 (2.9)	0	0	0	0	0	0	0	0
神 経 症 圏 (F4)	0	1	1 (0.7)	0	0	0	0	1	0	0	0
	1	1	2 (1.4)	1	0	1	0	3	0	0	1
	1	2	3 (2.1)	1 (0.5)	0	1 (0.7)	0	4 (3.0)	0	0	1 (1.0)
て ん か ん (G4)	1	0	1 (0.7)	2	1	2	2	2	2	2	3
	1	0	1 (0.7)	1	1	1	0	0	0	0	0
	2	0	2 (1.4)	3 (1.6)	2 (1.4)	3 (2.2)	2 (1.6)	2 (1.5)	2 (1.8)	2 (1.9)	3 (3.0)
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	87	80	167 (123.5)	111	75	73	77	76	72	69	61
	59	63	122 (91.5)	73	72	61	52	56	40	38	38
	146 (100)	143 (100)	184 (100)	184 (100)	147 (100)	134 (100)	129 (100)	132 (100)	112 (100)	107 (100)	99 (100)

5 - (5) 年齢別性別入院患者数の推移

各年度3月31日現在、単位：人、()内は%

年 度	区 分	~19歳	20 ~29歳	30 ~39歳	40 ~49歳	50 ~59歳	60 ~69歳	70歳~	合 計
平成20年度	男	0	3	7	11	28	18	20	87
	女	0	1	2	6	15	20	15	59
	計 %	0 (0.0)	4 (2.7)	9 (6.2)	17 (11.6)	43 (29.5)	38 (26.0)	35 (24.0)	146 (100)
平成21年度	男	0	2	5	10	23	19	21	80
	女	0	2	3	8	17	19	14	63
	計 %	0 (0.0)	4 (2.8)	8 (5.6)	18 (12.6)	40 (28.0)	38 (26.6)	35 (24.5)	143 (100)
平成22年度	男	1	5	5	12	22	41	25	111
	女	0	4	3	9	14	24	19	73
	計 %	1 (0.5)	9 (4.9)	8 (4.4)	21 (11.4)	36 (19.6)	65 (35.3)	44 (23.9)	184 (100)
平成23年度	男	1	4	3	9	16	20	22	75
	女	0	5	5	9	14	18	21	72
	計 %	1 (0.7)	9 (6.1)	8 (5.4)	18 (12.2)	30 (20.4)	38 (25.9)	43 (29.3)	147 (100)
平成24年度	男	0	6	2	6	18	24	17	73
	女	1	2	5	4	10	20	19	61
	計 %	1 (0.7)	8 (6.0)	7 (5.2)	10 (7.5)	28 (20.9)	44 (32.8)	36 (26.9)	134 (100)
平成25年度	男	0	7	6	7	18	23	16	77
	女	1	1	5	2	6	20	17	52
	計 %	1 (0.8)	8 (6.2)	11 (8.5)	9 (7.0)	24 (18.6)	43 (33.3)	33 (25.6)	129 (100)
平成26年度	男	1	4	4	11	17	23	16	76
	女	1	1	5	6	5	22	16	56
	計 %	2 (1.5)	5 (3.8)	9 (6.8)	17 (12.9)	22 (16.7)	45 (34.1)	32 (24.2)	132 (100)
平成27年度	男	1	4	2	10	20	23	12	72
	女	0	2	4	3	5	13	13	40
	計 %	1 (0.9)	6 (5.4)	6 (5.4)	13 (11.6)	25 (22.3)	36 (32.1)	25 (22.3)	112 (100)
平成28年度	男	2	2	1	13	14	25	12	69
	女	0	2	5	2	7	11	11	38
	計 %	2 (1.9)	4 (3.7)	6 (5.6)	15 (14.0)	21 (19.6)	36 (33.7)	23 (21.5)	107 (100)
平成29年度	男	1	4	2	11	13	21	9	61
	女	1	2	7	5	3	9	11	38
	計 %	2 (2.0)	6 (6.0)	9 (9.1)	16 (16.2)	16 (16.2)	30 (30.3)	20 (20.2)	99 (100)

5- (6) 入院患者の在院期間別割合の推移

各年度3月31日現在

在院期間	年 度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	人	%										
3ヶ月未満	人		10	8	52	20	14	17	33	26	30	28
	%		(6.8)	(5.6)	(28.3)	(13.6)	(10.4)	(13.2)	(25.0)	(23.2)	(28.1)	(28.3)
3ヶ月～6ヶ月	人		1	4	5	10	12	16	16	10	6	12
	%		(0.7)	(2.8)	(2.7)	(6.8)	(9.0)	(12.4)	(12.1)	(8.9)	(5.6)	(12.1)
6ヶ月～1年	人		7	7	7	7	7	10	7	10	14	5
	%		(4.8)	(4.9)	(3.8)	(4.8)	(5.2)	(7.8)	(5.3)	(8.9)	(13.1)	(5.1)
1年～3年	人		20	17	10	14	19	19	25	21	18	19
	%		(13.7)	(11.9)	(5.4)	(9.5)	(14.2)	(14.7)	(18.9)	(18.8)	(16.9)	(19.2)
3年～5年	人		8	10	16	11	5	5	6	10	12	9
	%		(5.5)	(7.0)	(8.7)	(7.5)	(3.7)	(3.9)	(4.5)	(8.9)	(11.1)	(9.1)
5年～10年	人		37	35	28	27	27	12	10	10	8	10
	%		(25.3)	(24.4)	(15.2)	(18.4)	(20.2)	(9.3)	(7.6)	(8.9)	(7.5)	(10.1)
10年～15年	人		18	15	16	15	14	21	18	11	9	7
	%		(12.3)	(10.5)	(8.7)	(10.2)	(10.4)	(16.3)	(13.6)	(9.8)	(8.4)	(7.1)
15年～20年	人		14	14	16	13	7	7	2	4	4	4
	%		(9.6)	(9.8)	(8.7)	(8.8)	(5.2)	(5.4)	(1.5)	(3.6)	(3.7)	(4.0)
20年～30年	人		19	21	22	19	17	10	8	6	3	4
	%		(13.0)	(14.7)	(12.0)	(12.9)	(12.7)	(7.7)	(6.1)	(5.4)	(2.8)	(4.0)
30年以上	人		12	12	12	11	12	12	7	4	3	1
	%		(8.2)	(8.4)	(6.5)	(7.5)	(9.0)	(9.3)	(5.3)	(3.6)	(2.8)	(1.0)
合 計	人		146	143	184	147	134	129	132	112	107	99
	%		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

5 - (7) 平均在院日数の推移

	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29
矢吹病院	933	1,094	616	523	582	370	337	257	223	187
福島県	381	360	335	298	331	326	329	315	315	-
全国	313	307	301	278	292	285	281	275	270	-

5 - (8) 在院期間別年度内退院患者の推移

(上段：実人数 下段：%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1ヶ月未満	8 11.6	12 24.0	15 23.4	24 18.0	19 20.4	2 1.5	24 17.5	41 22.8	37 19.1	44 20.4
1ヶ月～3ヶ月	18 26.1	17 34.0	27 42.2	30 22.6	23 24.8	8 5.9	45 32.8	56 31.1	93 47.9	116 53.7
3ヶ月～6ヶ月	13 18.8	6 12.0	9 14.1	14 10.5	17 18.3	23 17.0	25 18.2	42 23.3	29 14.9	23 10.6
6ヶ月～1年	8 11.6	3 6.0	0 0.0	45 33.8	7 7.5	54 40.0	12 8.8	15 8.3	12 6.2	11 5.1
1年～3年	4 5.8	3 6.0	7 10.9	3 2.3	8 8.6	27 20.0	10 7.3	12 6.7	9 4.6	13 6.0
3年～5年	6 8.7	2 4.0	1 1.6	2 1.5	4 4.3	4 3.0	2 1.5	3 1.7	4 2.1	1 0.5
5年以上	12 17.4	7 14.0	5 7.8	15 11.3	15 16.1	17 12.6	19 13.9	11 6.1	10 5.2	8 3.7
合計	69 100%	50 100%	64 100%	133 100%	93 100%	135 100%	137 100%	180 100%	194 100%	216 100%

5 - (9) 保健所別入院患者数

平成30年3月31日現在 (単位：人)

保健所名	人数	保健所名	人数	保健所名	人数		
県北	4	県中	22	県南	46		
会津	1	郡山市	8	いわき	2		
南会津	0	相双	15	県外	1	合計	99

5 - (10) その他のクリニカル・インジケータ（臨時指標）

① 再入院率

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
A	160	189	208
B	24	44	26
再入院率	15.0%	23.3%	12.5%

$$\frac{B : A \text{のうち3カ月以内に入院歴のある患者数}}{A : \text{新入院患者数}} \times 100$$

② 残留率

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
C	140	160	189
D	18	15	20
残留率	12.9%	9.4%	10.6%

$$\frac{D : C \text{のうち1年以上入院した患者数}}{C : \text{前年度の新入院患者数}} \times 100$$

③ 退院率

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
E	92	80	77
F	26	23	23
退院率	28.3%	28.8%	29.9%

$$\frac{F : \text{退院患者のうち1年以上入院した患者数}}{E : \text{1年以上の入院患者数}} \times 100$$

④ 行動制限施行率

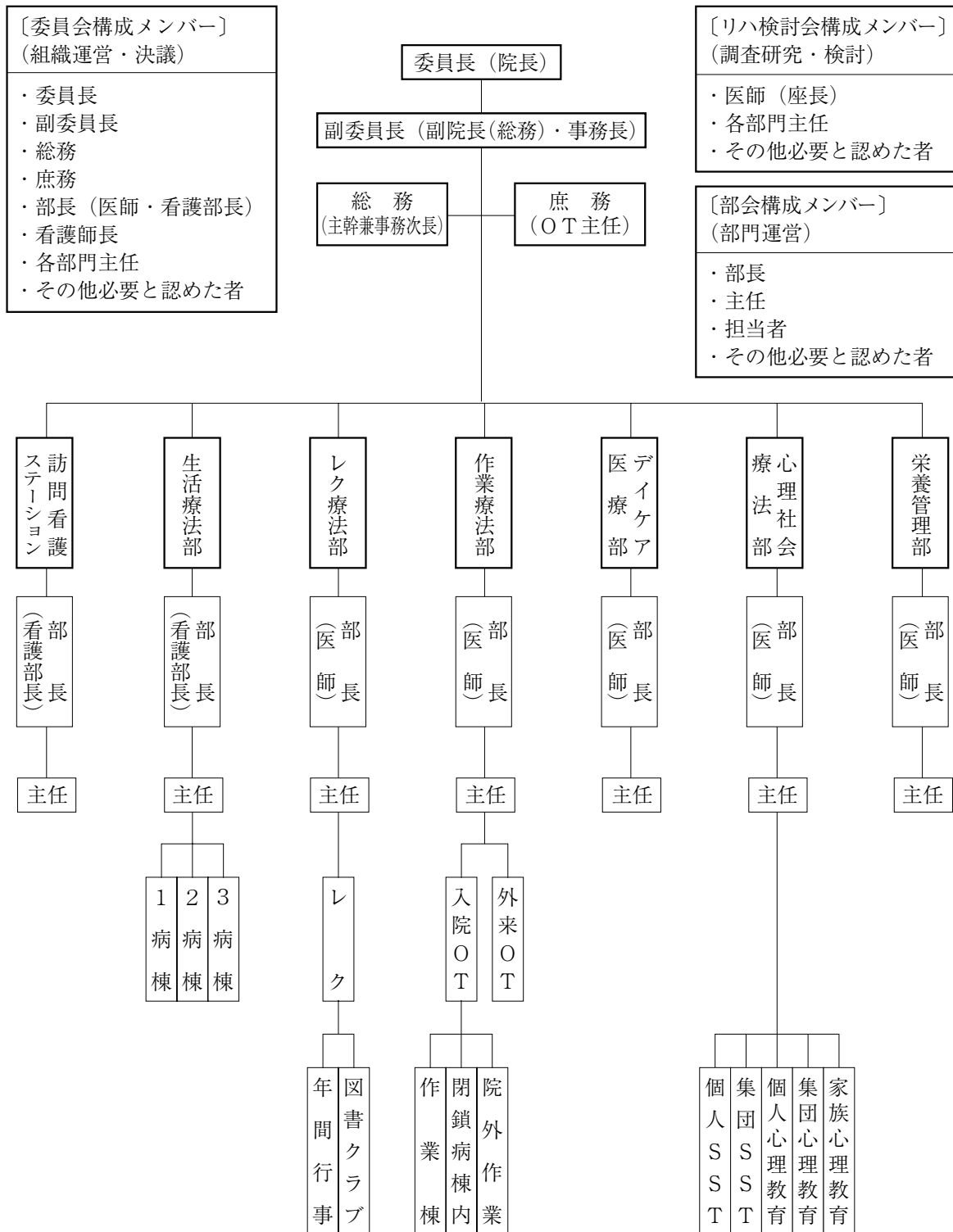
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
隔離	施行日数	4,444	4,826	4,687
	施行率	10.2%	11.3%	11.8%
拘束	施行日数	86	34	136
	施行率	0.2%	0.1%	0.3%

$$\frac{\text{隔離（拘束）施行日数}}{\text{在院患者数（延日数）}} \times 100$$

6 医療関係業務実施状況

6-1) リハビリテーション組織

平成 30 年 6 月 1 日現在



6 - (2) 生活療法部

ADLの自立度、患者個々の機能、家族の意向と役割を把握しながら障害に応じた生活技能訓練、服薬指導、コミュニケーション技能を含めた対人技能の獲得のためのトレーニングを行っています。

生活場面ではこれらを受け持ち看護師が計画に反映させながら生活療法担当者と連携し援助しています。また、リハビリテーション組織内の他の療法部や病棟からの問題点を検討しています。

6 - (3) レクリエーション療法部

① 年間行事

病院全体の行事として療養生活に憩いや安らぎの場を提供するとともに、地域との触れ合いを重視し開かれた病院を目指す事を目的に実施しています。

【平成29年度実施状況】

実施日	行事内容	参加者
10月29日(日)	矢吹病院祭り	約370名
12月8日(金)	アニマルセラピー	約80名

② 図書

院内図書館は毎月第2、第4火曜日(14:00~15:00)貸し出しを実施。

平成29年度利用状況は、貸し出し422冊で、利用者63名であった。今後も患者のニーズに合った図書の貸し出しに努めていきます。

6-(4) 作業療法部

当院における作業療法も昭和49年実施当初から幾多の変遷を経てきたが、ここ最近の状況としては高齢化や地域移行などに伴う入院患者数の減少により、参加延べ人数減少の傾向がみられている。

平成27年度からは病棟閉鎖に伴い室内 OT の減少が目立つ。病棟機能分化に合わせた OT プログラムの見直しを行っている。

① 年度別作業療法実施状況 (単位：延べ人数)

年 度	入院 OT	外来 OT	合 計
平成20年度	14,462		14,462
平成21年度	13,741		13,741
平成22年度	12,890	32	12,922
平成23年度	16,917	385	17,302
平成24年度	13,679	452	14,131
平成25年度	12,319	446	12,765
平成26年度	13,632	634	14,266
平成27年度	10,557	644	11,201
平成28年度	10,382	538	10,920
平成29年度	10,342	1,123	11,465

② 週間プログラム

	月	火	水	木	金
AM	3F・外来 (OT棟+カラオケ) 2F(紙工棟)	3F・外来 (OT棟) 1F 個別 (病棟内)	3F・外来 (OT棟) 2F・外来 (紙工棟)	3F・外来 (OT棟+軽運動) 2F・外来 (紙工棟)	3F・外来 (OT棟) 2F・外来 (紙工棟) 調理実習 (調理室)
PM	1F・外来 (紙工棟) 1F 個別 (病棟内個別対応)	1F・外来 (紙工棟) 2F (病棟内)	1F・外来 (軽運動) 1F 個別 (病棟内)	1F・外来 (紙工棟) 1F 個別 (病棟内) 食材買出し (メガステージ)	1F・外来 (紙工棟) 1F 個別 (病棟内)

ア 3F・外来

午前中は主に開放病棟の患者を対象に、作業棟を利用した作業療法を行っている。内容としてはペーパークラフト、編み物、裁縫、刺し子、ビーズ手芸、塗り絵、貼り絵、計算ドリル、木工、パソコンの他、カラオケやビデオ、卓球なども含め多様な活動を提供している。

イ 1F・外来、2F・外来

火曜日から金曜日の午後は、主に閉鎖病棟の患者を対象に作業棟を利用した作業療法を行っている。内容は午前の作業棟OTと同様だが、比較的少人数で、より密度の濃い関わりができています。閉鎖病棟により外出等の機会が少ないため、散歩や軽運動を取り入れることで運動不足の解消に努めている。

ウ 調理実習

退院を想定した調理実習を行っている。前日に町内スーパーまで食材買出しに出掛け、金曜の昼食を作っている。

エ 1 F 個別

急性期治療病棟への関わりとして、入院時の情報収集や個別での介入など早期に展開できる体制をとっている。

オ 外来OT

退院後のフォローを目的に平成22年度よりプログラムとして組み入れている。現在は在宅や近隣の施設などからも参加があり、院内においても定着してきた。

③ 作業療法科学生の受入れ

(単位：人)

年度	校名	山形医療	岩手リハ	東北文化	郡山健康	国際医福	茨城医療	仙台リハ	健康大学	東北福祉	東北保健	日本医療	仙台保健	計
平成20年度		-	1	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	6
平成21年度		-	1	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	6
平成22年度		-	1	1	1	-	1	-	1	1	-	-	-	6
平成23年度		-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2
平成24年度		-	1	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	5
平成25年度		-	1	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	5
平成26年度		-	1	1	2	-	-	-	-	1	1	-	-	6
平成27年度		-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	1	1	6
平成28年度		-	1	1	2	-	-	-	-	1	1	-	-	6
平成29年度		1	1	1	2	-	-	-	-	1	1	1	1	9

【注】 国仙リハ：国立仙台病院付属リハビリテーション学院

岩手リハ：岩手リハビリテーション学院

東北文化：東北文化学園大学

郡山健康：郡山健康科学専門学校

東北福祉：東北福祉大学

国際医福：国際医療福祉大学

茨城医療：茨城県立医療大学

健康大学：健康科学大学

東北保健：東北保健医療専門学校

日本医療：日本医療科学大学

仙台保健：仙台保健福祉専門学校

山形医療：山形医療技術専門学校

6-(5) デイケア医療部

平成元年5月からの試行期間を経て、平成3年4月厚生省認可のもとに福島県最初の精神科デイケアを開設した。

・地域で生活をしながら、デイケアへ通い、様々なプログラムや仲間との交流を通して、生活のしづらさを克服し、自立した生活を目指せる様に、各個人に合わせた関わりを行っている。

・スタッフ～NS 3名、OT 1名、心理 1名

① 性別・年齢別

区分	男	女
20才未満	5	4
20～29才	1	1
30～39才	5	1
40～49才	14	3
50～59才	4	3
60～69才	8	6
70才以上	2	0
計	39	18

(平成30年3月末時点)

② 診断病名別

区分	人数
統合失調症	38
気分障害	2
発達障害	4
その他 (ADHD、 児童思春期など)	13
計	57

(平成30年3月末時点)

③ 性別・年代別内訳

区 分	男	女
10～19才	0	1
20～29才	5	2
30～39才	7	4
40～49才	12	11
50～59才	28	12
60才以上	24	43
計	76	73

④ 地域別内訳

区 分	女
矢 吹 町	41
白 河 市	40
須 賀 川 市	13
石 川 町	7
西 郷 村	7
泉 崎 村	5
中 島 村	8
玉 川 村	0
棚 倉 町	0
郡 山 市	8
平 田 村	5
田 村 市	2
鏡 石 町	3
天 栄 村	2
塙 町	5
矢 祭 町	0
大 玉 村	0
浅 川 町	2
小 野 町	1
計	149

⑤ 診断病名別内訳

区 分	人 数
統合失調症	106
躁うつ病	4
うつ病	5
精神遅滞	4
てんかん	1
老人性精神病	0
発達障害	0
覚醒剤中毒後遺症	0
強迫性障害	0
不安神経症	3
妄想性障害	2
適応障害	3
認知症	5
アルコール依存症	3
反応性精神病	1
双極性障害	4
パニック障害	1
非定型精神病	2
広汎性発達障害	2
知的障害	1
高次機能障害	1
身体表現性障害	2
計	150

(2) アウトリーチ

平成27年5月から未治療や治療中断、ひきこもり、長期入院後の退院、対応が困難な方を対象に病院の専門職がチームを組んで、地域の保健や福祉と協働で訪問支援を行っている。

対象者との関係構築を行いながら、ご本人や周囲の方の困りごとの解決や医療へ繋ぐこと、本人の希望が叶うというような豊かな生活への支援など幅広く、質の高い支援を提供している。

- ①相談件数 23件
- ②事例検討件数 10件
- ③訪問支援件数 6件 (延287回)
- ④ 相談件数の年齢別内訳

年 齢	件 数
～19才	0
20～29才	0
30～39才	4
40～49才	3
50～59才	5
60～69才	5
70～79才	3
80～89才	2
不 明	5

⑤ 相談件数の種類別内訳

種 類	件 数
治 療 中 断	10
ひきこもり	0
困 難 ケ ー ス	5
未 治 療	4
そ の 他	4

6-(7) 認知症疾患医療センター

当院では認知症疾患に関する診断・治療、専門医療相談を実施する「認知症疾患医療センター」について福島県より平成29年6月に指定をうけ運営を開始している。

当センターには、認知症に関する専門知識を有する医師、臨床心理技術者、精神保健福祉士等を配置しており、本人や家族からの相談、かかりつけ医からの紹介、市町村、地域包括支援センター等の関係機関からの医療相談を実施している。

また認知症の早期発見・早期対応のために、認知症疾患医療連携協議会を設立して地域連携の強化と認知症に係る研修会を実施した。

- ① 鑑別診断件数 49件
- ② 相談件数 63件
- ③ 入院件数 18件
- ④ 認知症疾患医療連携協議会（平成29年12月設立）

構成員：県南地区の市町村、地域包括支援センター、医師会、医療機関、家族の会、県南保健福祉事務所等

6-(8) 心理社会療法部

当院では平成22年度に心理教育部が発足され、ア集団心理教育、イ個人心理教育、ウ家族心理教育を3本柱とし『いつでもどこでもだれでも心理教育』をスローガンに活動してきた。さらに、平成25年度には心理教育とSSTを統合した心理社会療法部が発足され、「病気や薬に対する正しい知識の獲得」「コミュニケーション能力を高める事で、よりよい生活を自主的に送られるようになる」を目的とし活動をしている。また平成27年度から精神疾患を持ちながらも社会生活を送っている方と入院患者さんが双方向的に話せる場としニコの会の活動も始めた。

家族心理教育では家族心理教育ネットワークより平成24年度に4名、平成26年度に3名がインストラクターの認定を受け、県内外の施設や病院を対象に平成29年1月に3回目となる「標準版家族心理教育研修会 in ふくしま」を開催した。

【平成29年度実績報告】

① 集団心理教育

集団心理教育はニコの会（全病棟患者さん、デイケア通所中または外来通院患者さんを対象に参加者が双方向的に話し合える場）とオープン（入院患者さんを対象に病気について広く関心を持ってもらう、あるいは自由に話せる場として各病棟単位で行う）に分けて実施した。

ア ニコの会

当院に入院、またはデイケアや外来に通所・通院している患者さんが誰でも参加でき集まれる場になっている。「各テーマに沿って自分の思いや経験、アドバイスやアイディアなど自由に話せる場」「ピアサポーターとの交流の場」「当院医師など専門職から話を聞く場」など、内容は充実したものとなった。

実施回数：24回 延べ参加人数：288名 平均参加人数：12名

イ オープン

1病棟は急性期閉鎖病棟、2病棟は慢性期閉鎖病棟、3病棟は社会復帰病棟という体制となり、各病棟の機能にあった活動が出来るよう実施してきた。

1病棟 オープン参加での実施ではなく、個人心理教育を実施した。

2病棟 全25回実施 延べ参加人数：220名 平均人数：8.8名

3病棟 全37回実施 延べ参加人数：918名 平均人数：24.8名

② 個人心理教育

急性期病棟や個別ニーズの高い患者様を対象とし「薬剤管理指導」「退院準備プログラム」を実施した。

ア 薬剤管理指導（薬剤師実施件数）

1 病棟	実施人数：93名	実施回数：2回
2 病棟	実施人数：16名	実施回数：7回
3 病棟	実施人数：15名	実施回数：19回

イ 退院準備プログラム

1 病棟	実施人数：93名	実施回数：353回
2 病棟	実施人数：12名	実施回数：12回
3 病棟	実施人数：12名	実施回数：62回

ウ 家族心理教育

平成23年4月より入院または退院患者様の家族を対象に、毎月第4土曜日の午後開催している。教育セッションとグループワークを通し「家族の健康度」「対処技能」の向上を目指し、1クール5回の設定で実施した。セミクローズドの形式で毎月平均4～5名の家族が参加され、家族同士の体験の共有や相談事に対するアイデアの提示など「なんでも話せる場」として定着してきた。新規参加の家族も増えてきており、参加者から相談会に対しての高い評価をいただき、毎回充実したものになっている。

エ 思春期家族教室

平成26年1月より思春期外来通院患者様の家族を対象に開始した。他の病院から紹介されるケースも多く、地域への周知がされてきている。

【平成30年度活動概要】

心理社会療法部

平成27年度より病棟体制が変わり、機能別をふまえた活動内容に変更してきた。今年度はさらに各病棟の機能にあった活動を充実させていく。また『入院医療中心から地域生活中心へ』という国のビジョンに基づき「病気や薬に対する理解を深め、再発防止のための方法、社会資源の利用など学習機会を設けることにより、治療効果の強化と再発防止策の一助とする」「病気や薬に対する正しい考えや知識の獲得、コミュニケーション能力を高める事で、よりよい地域生活を自主的に送られるようになる」ことを目的に、ピアサポーターと交流の場を増やし地域移行支援が出来るよう活動していく。

6- (9) 栄養管理部

病院における食事は入院患者様の楽しみのひとつであり、明日への希望の源であると同時に治療の一環として極めて重要な位置を占めている。

管理栄養士・栄養士が食事摂取基準に準じ患者様個人の状態に合わせた献立を作成し、調理方法、味付け、盛り付け、配膳等については患者様の食習慣や嗜好を考慮し、安全でおいしい食事の提供を行っている。七夕やクリスマス、節分等の季節の行事には、内容に合わせて行事食を取り入れている。

また、患者様の栄養状態を把握し、必要な栄養量が充足できるよう他職種と協同し、食事形態等の検討や食事相談を行っている。

食事を通して正しい食習慣のあり方や生活習慣病の予防について理解を深めていただくため、病棟やデイケアの協力を得て、管理栄養士が定期的に栄養教室を開催している。

生活習慣病等の改善や食事療法に関しての知識の習得が必要な方に対しては、医師の指示のもと個別に管理栄養士が栄養指導を行っている。

7 医療安全管理室

7-(1) 基本方針

患者様、家族の安全を最優先に考え、病院職員の安全確保も忘れることなく安全で質の高い医療の提供に努めます。

7-(2) 医療安全の取り組み

当院は、平成16年4月より医療安全委員会、及びリスクマネジメント部会を設置し医療安全に努めてきました。また、平成19年9月より医療安全管理室が新たに設置し、専任リスクマネージャーを配置しました。(当院名称ゼネラルリスクマネージャー：GRM)

① 医療安全管理室の役割

- ア 予防：医療事故防止対策のための院内研修の実施。
- イ 情報管理：インシデントレポートからのリスク分析、情報収集・広報。
- ウ コンサルテーション：職員・患者様との面談、問題解決の支援。
- エ コーディネート：院内の各部署間、職種間の調整。時には院外の組織、専門職との調整。
- オ アドバイザー：組織のリスクマネジメント管理に関する意思決定の支援。

② 活動内容

インシデント報告への対応

- ・ インシデントレポート報告の収集、分析、具体的な改善案の提案、分析結果のフィードバックと収集結果の管理を行います。
- ・ 医療安全に関する現場の実態調査と予防活動に取り組みます。
 - i：現場の情報収集及び実態調査、定期的なパトロール・点検マニュアルの遵守状況の点検をします。
 - ii：マニュアルの点検と見直しの提言をします。

③ 医療安全に関する情報管理及び情報発信への取り組み

- ・ 医療事故及び医療事故防止に関する最新情報の把握と職員への周知を行います。(定期的にニュースを発行する。医療安全に関する情報や訴訟問題等々)

④ 医療安全管理のための院内教育研修活動

- ・ 個々の職員の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識向上を図るため医療に係る安全管理のための基本的な考え方及び具体策について、研修を行います。(医療安全研修会を定期的に開催する)

⑤ 各種医療安全に関する会議の参画、運営支援を行う。

平成29年度インシデントレポート件数について (アクシデントレポートは別集計)

◆レベル別件数

レベル区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
0		43	24	31	44	28	27	29	23	13	20	19	19	320	26.7
1		42	56	41	58	48	49	51	44	43	31	30	28	521	43.4
2		24	45	37	34	19	26	39	24	27	22	13	26	336	28.0
3a		1	5	6	0	4	4	4	9	6	6	3	5	53	4.4
計		110	130	115	136	99	106	123	100	89	79	65	78	1,230	102.5

※平成28年度インシデントレポート件数 (1,190件)

インシデント・アクシデントのレベル区分 (報告時点)

	レベル	傷害の持続性	傷害の程度	
インシデント	レベル0	-		エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。
	レベル1	なし		患者への実害はなかった。(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
	レベル2	一過性	軽度	処置や治療は実施されなかった。(観察強化、バイタルの軽度変化、検査などの必要は生じた)
	レベル3a	一過性	中程度	簡単な処置や治療を要した。(消毒、湿布、鎮痛剤の投与、縫合など)
アクシデント	レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器装着、手術、入院の延長、骨折)
	レベル4a	永続的	軽度～中程度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
	レベル4b	永続的	中程度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う。
	レベル5	死亡		死亡。(原疾患の自然経過によるものを除く)

8 医療ソーシャルワーク実施状況

8- (1) 面接活動等

【平成29年度実施状況】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 入院時面接	16	18	20	19	16	9	24	13	14	15	10	13	187
2 経済的問題	11	36	50	68	53	52	75	56	99	114	70	70	754
3 地域移行・地域生活支援	39	169	172	190	191	133	133	167	149	147	177	164	1,831
4 家族調整	12	20	25	28	22	34	29	33	24	56	43	28	354
5 受療上・心理的援助	11	40	28	81	83	73	90	81	88	122	135	122	954
6 ケース会議	12	86	89	92	91	92	49	98	66	78	54	74	881
7 医療観察法	4	4	14	10	4	3	2	11	8	7	7	13	87
8 退院支援委員会	2	1	5	11	3	1	3	6	0	5	3	10	50
計	107	374	403	499	463	397	405	465	448	544	499	494	5,098

8- (2) その他

- ア 心神喪失者等医療観察法に基づく、指定通院医療機関としての援助及び関係機関との連絡調整
- イ 精神科訪問看護、精神科退院前訪問看護等の実施協力
- ウ アウトリーチ事業の実施協力
- エ 福島県保健福祉部障がい福祉課マッチング事業実施協力
- オ 矢吹病院家族会事務局担当（17 家族会活動状況の項参照）
- カ 福島県精神保健福祉協会県南支部事務局

9 臨床検査実施状況

(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
臨床検査	32,382	26,608	24,407	28,692	35,485
1 一般検査	1,303	1,096	1,017	1,088	1,204
2 生化学検査	24,624	20,099	18,129	21,202	25,265
3 血液検査	3,932	3,029	2,834	3,356	4,390
4 生理検査	352	396	407	525	660
5 病理検査	0	0	0	0	0
6 細菌検査	45	60	71	66	49
7 免疫検査	360	305	376	436	511
8 その他	22	7	13	14	9
9 外部委託検査	1,525	1,407	1,341	1,798	3,198
10 患者外検査	219	209	219	207	199
X 線	401	522	376	489	506
C T	217	265	237	268	292

10 臨床心理業務実施状況

10- (1) カウンセリング等心理療法的業務

【平成29年度実施状況】

区 分	件 数
個人面接、カウンセリング (家族、学校関係者との面談を含む)	1,057
集 団 療 法	190
合 計	1,247

10- (2) 心理検査

【平成29年度実施状況】

① 発達及び知能検査			
検 査 名	件数	検 査 名	件数
田中ビネーV	50	S-M社会生活能力検査	72
WISC-IV	184	遠城寺式	10
JART	26	K式発達検査	5
PVT-R	8	コース立方体	11
WAIS-III	104		
小 計			470
② 人格検査			
検 査 名	件数	検 査 名	件数
ロールシャッハテスト	39	TEG	17
描画(人物、バウム、家族等)	59	P-F	87
SCT	46	Y-G	3
MMPI	52		
小 計			303
③ その他の検査			
検 査 名	件数	検 査 名	件数
長谷川式簡易スケール	32	記銘力検査	8
ベントン視覚記銘	2	BGT	1
MEDE	7	親子関係検査	30
LSAS-J	6	一般職業適正検査	3
ADI-R	13	MMS E	28
AQ日本版	61	K-ABC II	82
CARS	8	ベック II	2
PARS-TR	131	Conners 3	55
CAARS	18	Vineland II	1
SDS	4	FAB	20
SMQ-R	2	CDT	18
ADAS cog	1	STAI	2
BADS	2	Y-BOCS	2
N式	1		
小 計			540
総 計 (① + ② + ③)			1,313

11 薬事の状況

【採用医薬品】

(平成30年4月1日現在)

	採用数	先発薬	後発薬	後発薬採用率
内用薬	340	284	56	16.5%
注射薬	82	72	10	12.2%
外用薬	68	53	15	22.1%
計	490	409	81	16.5%

【調剤状況1】

区分 年度	処方箋枚数		調剤数	
	入院	外来	入院	外来
平成20年度	12,907	10,426	24,682	28,351
	23,333		53,033	
平成21年度	13,101	9,760	24,614	28,329
	22,861		52,943	
平成22年度	12,392	8,750	23,550	23,929
	21,142		47,479	
平成23年度	14,627	9,000	28,003	24,285
	23,627		52,288	
平成24年度	12,459	8,773	24,005	22,864
	21,232		46,869	

【調剤状況2】

区分 年度	処方箋枚数(院内)					調剤数(院内)					院外	注射箋
	入院	外来				入院	外来				枚数 (精+内)	全体 枚数
		精神科	内科	歯科	計		精神科	内科	歯科	計		
平成25年度	11,909	8,262	686	16	8,964	21,632	21,384	1,743	29	23,156	5	未集計
	(全体 20,873枚)					(全体 44,788剤)						
平成26年度	11,676	8,369	697	33	9,099	22,380	21,468	1,891	53	23,412	0	1,297
	(全体 20,775枚)					(全体 45,792剤)						
平成27年度	10,146	8,657	540	23	9,220	20,532	22,843	1,881	43	24,767	0	1,370
	(全体 19,366枚)					(全体 45,299剤)						
平成28年度	9,946	7,141	515	18	7,674	20,487	18,585	1,806	25	20,416	2,399	1,470
	(全体 17,620枚)					(全体 40,903剤)						
平成29年度	9,480	82	0	26	108	21,858	267	0	43	310	12,051	1,731
	(全体 9,588枚)					(全体 22,168剤)						

【服薬指導件数】

平成25年度	111件
平成26年度	103件
平成27年度	88件
平成28年度	0件
平成29年度	40件

【薬品購入額（税込）】

(千円)

平成20年度	115,500	平成25年度	127,030
平成21年度	116,699	平成26年度	123,389
平成22年度	113,021	平成27年度	128,526
平成23年度	127,856	平成28年度	113,771
平成24年度	119,629	平成29年度	38,068

12 給食実施状況

【患者及び患者外給食の状況】

区 分 年 度	患 者 食				デイケア (昼のみ)	合 計
	一 般 食		特 別 食			
	普通食	軟 食	加算対象食	非加算対象食		
平成20年度	50,270	36,811	41,644	35,733	3,459	167,917
平成21年度	45,784	33,421	35,291	41,395	3,208	159,099
平成22年度	50,456	30,832	35,300	38,026	3,233	157,847
平成23年度	63,356	36,836	34,869	40,188	3,451	178,700
平成24年度	52,528	37,990	26,926	29,403	3,840	150,687
平成25年度	67,397	35,083	19,847	20,604	3,293	146,224
平成26年度	69,026	34,752	17,585	14,037	2,676	135,820
平成27年度	66,043	30,903	14,804	14,664	2,336	128,750
平成28年度	62,719	38,385	12,365	10,720	2,594	126,783
平成29年度	55,632	37,639	14,364	7,114	2,951	117,700

13 看護活動の状況

13- (1) 病棟別看護概要

病棟	定数	病棟概要
一 病 棟	男女混合 44 (保護室8床)	<p>1病棟は、救急急性期病棟として3ヶ月以内の治療を行う男女混合の閉鎖病棟です。日頃患者さんの安全に十分配慮し、安心して治療が受けられるよう環境を整えており、3人夜勤体制で密度の濃い看護を提供しています。</p> <p>治療は、主として薬物療法や精神療法を行います。治療上の必要性から特に隔離・拘束が行われる場合もあります。その際は、患者さんの人権や倫理的配慮を遵守した対応をしております。</p> <p>入院から患者さんの退院後の生活を目指した関わりが行われ、ケースカンファレンスや多職種でのケア会議で患者さんや家族の意向を尊重しながら地域移行支援を進めています。また、作業療法の導入や社会生活に上手く適応していくための技能獲得や疾病教育・再入院予防などを目的に社会心理療法も行ってまいります。</p> <p>病棟スタッフ一人一人がより良い看護が提供できるよう、院内・院外研修に参加し自己研鑽に努めています。</p>
二 病 棟	男女混合 45 (保護室6床)	<p>男女混合の重症治療閉鎖病棟として、慢性期で症状の安定しない対応困難患者や治療抵抗性のある患者を対象としている。疾患は統合失調症、感情障害、発達障害、知的障害、認知症、多飲症と多様です。</p> <p>治療は薬物療法・精神療法を中心に、個別性を重視し、地域社会移行を念頭に看護を展開しており、現在は、治療抵抗性のある患者に対して、クロザリルの使用も開始しています。</p> <p>看護提供方式は、モジュラーナーシングを導入し、勤務態勢も夜勤は各3名の3交代制で密度の濃い看護を提供しています。</p> <p>入院中は、当事者の「夢や希望」を大切に、多職種でケア会議を家族・本人も含め開催し、地域移行支援を推進しています。病棟内活動として、OTRによる作業療法、心理社会療法（心理教育・SST・レク）を導入し、治療意欲が持てるようにグループや個別に関わっています。</p>
三 病 棟	男女混合 57 (けやき5床)	<p>男女混合の社会復帰病棟です。患者個々の病状、家族状況を踏まえながら安全で安心して入院生活が送れるように努めています。</p> <p>また、多職種と連携を図りながら退院促進に取り組んでおり、作業療法（調理実習を含む）を始め、服薬自己管理、現金自己管理、院外単独外出・外泊、他施設への試験外泊など自主性を尊重し地域社会移行を踏まえ生活の向上に努めています。更に心理社会療法として心理教育、SSTを統合して行ってまいります。</p> <p>日常生活面では身体機能の維持と気分転換が図れるように毎月の目標を立て、レクリエーションや体操を行っています。</p>

13- (2) 院内教育実施状況

平成29年度現任教育（研修）実施結果

平成30年3月

	研修項目	テ ー マ	日 時	参加者数 (延べ)	講 師
オリエン テーション	新規採用・転入者 オリエンテーション	プログラム研修	4/5～4/11	42名	横山院長・渡辺看護部 長・専門職種
医療安全 研 修	C V P P P	プログラム研修	4/27、5/18 5/25、6/1	36名	CVPPPトレーナー
		リフレッシュ研修	2/8	6名	CVPPPトレーナー
	医療安全管理	事故発生時の対応	6/6	28名	滝田GRM
		医療安全事故調査について	7/5	17名	滝田GRM
		ヒューマンエラー	9/6	21名	滝田GRM
		転倒リスクマネジメント	1/31	44名	滝田GRM
		精神科で知っておくべき法知識	3/5	29名	滝田GRM
	医療機器	一時救命とAEDの取り扱い	3/20	10名	橋本純一主任看護技師
		医薬品取扱い	2/22	10名	高橋精神科認定看護師
	医療ガス	医療ガスの安全な取り扱いについて	9/20、11/15	12名	(株)星医療酸器 国分幸一先生
行動制限 最 小 化 研 修	行動制限最小化	行動制限最小化とは	10/31	53名	角田副院長
		閉鎖病棟の行動制限について考える	2/28	37名	佐藤師長・高橋師長
	身体拘束	身体拘束マスター研修	毎月 第2・4(木)	287名	安田精神科認定看護師
接遇研修	接遇	接遇とは*グループワークを通して考える	11/30、12/22 1/25、2/15	83名	患者サービス向上委員
院内感染 対策研修	感染対策	手指衛生	9/27	23名	吉田製薬 宮崎勉先生
		インフルエンザ	10/18	14名	吉田製薬 宮崎勉先生
		消毒薬の適正使用	12/13	34名	吉田製薬 宮崎勉先生
		口腔ケア	11/22	23名	雪印ビーンスターク 上遠野久美子先生
		HIVの動向と陽性者への対応	12/19	28名	宗像副院長
		手指衛生	4/13	15名	大津感染管理認定看護師
		採血・吸引手順	6/1	14名	大津感染管理認定看護師
		HIV感染症	7/11	18名	大津感染管理認定看護師
		血管内留置カテーテル手順・管理	7/26	14名	大津感染管理認定看護師
		ノロウイルス対策	10/10	20名	大津感染管理認定看護師
		尿道留置カテーテル手順・管理	11/2	15名	大津感染管理認定看護師
		感染症症例検討・リスクアセスメント	1/11	4名	大津感染管理認定看護師
		手指衛生実技フリッターバッグを使用して	随時	152名	大津感染管理認定看護師
		手指衛生	9/21	16名	大津感染管理認定看護師
倫理研修	医療倫理	精神科医療における法と倫理	6/21	28名	横山院長
	職業倫理	職業人としての倫理	7/11	22名	看護部長
	医療倫理	倫理観（倫理的カンファ）	10/11	22名	徳永師長
中間管理 者 研 修	師長・専看研修	看護管理	8/23	6名	看護部長

	研修項目	テーマ	日時	参加者数 (延べ)	講師
看護部 レベル別 研修	基礎研修	セルフケア概念	8/8	4名	濱尾専門看護師
		看護記録とパス	4/26	4名	看護記録委員
		セルフケアと看護 (ケースワーク)	9/12	6名	濱尾専門看護技師
		精神科における薬物療法	5/30	6名	高橋精神科認定看護師
		行動制限	4/27	6名	安田精神科認定看護師
		社会資源について	7/19	4名	根本精神保健福祉士
		セルフケア概念	8/8	4名	濱尾専門看護技師
		作業療法について	8/18	4名	米畑OT
		事例検討について	9/27、10/25	16名	濱尾専門看護技師
		事例検討の実際	11/29、12/27 1/24、3/14	16名	濱尾専門看護技師
		発達障害の特性①②	11/24、12/12	47名	吉田CP
看護部 レベル別 研修 (専門 研修)	看護研究	看護研究について	4/12	7名	看護研究検討委員
		看護研究発表会	2/27	19名	講評 徳永師長
	臨床指導者研修	臨床指導の実際～学生の思いを受け止めよう～	5/10	9名	長久保主任看護技師
	褥瘡対策	皮膚・排泄	6/23、10/17	20名	南会津病院 土屋朝子 皮膚排泄認定看護師
			漢方薬について	12/20	13名
	認定看護師研修会	クロザリルについて	4/20	23名	高橋精神科認定看護師
		定型抗精神病薬・非定型抗精神病薬の主な作用	6/28	12名	高橋精神科認定看護師
		定型抗精神病薬・非定型抗精神病薬の主な特徴	8/3	10名	高橋精神科認定看護師
		CP換算値とは何か スイッチングの注意点	10/5	18名	高橋精神科認定看護師
		事例検討	3/27	11名	高橋精神科認定看護師
		地域移行支援	訪問看護の実際	6/13	14名
	アウトリーチの実際		9/12	6名	濱尾専門看護師
	チーム医療	事例検討会	6/30、8/25	40名	教育委員
	疾患と看護	アルコール依存症	10/17	22名	菅野師長
看護技術	エンゼルケア	7/6	10名	DVD学習	
トピックス 研修	診療報酬改定	診療報酬改定の概要について	3/27、3/28	44名	ソラスト エリアマネジャー
	司法精神医学	司法精神医学研修	11/13、12/11 1/15	82名	佐藤副院長
	臨床実践向上研修	慢性呼吸器疾患看護	1/12	9名	南会津病院 飯塚知徳 呼吸器疾患看護認定看護師
	臨床実践向上研修	糖尿病看護	1/12	11名	南会津病院 湯田真紀 糖尿病看護認定看護師
	オンデマンドライブ	急性期医療	3/2、3/7 3/25	37名	オンデマンドライブ
	疾患別研修	認知症のイロハ	3/6	20名	三共製薬 芝野賢一先生
その他	治療プログラム研修会	アルコール研修	2/1、3/22	42名	菊池佑先生

13-(3) 院外研修実施状況

平成29年度実施結果

平成30年3月

項 目	開 催 地	人数
1 県 関 係		
県立病院レベル別研修会	福 島 市	2 2
県立病院看護研究発表会	福 島 市	1 4
県立病院ローテーション研修	南 会 津 郡	2
県立病院実践能力向上研修会	会 津 若 松 市	8
情報セキュリティー研修会	郡 山 市	5
自治研修センター研修	福 島 市	1 1
D P A T養成研修会	福 島 市	2
2 看護協会関係 (日精看・日看協・日看連)		
(一社)日本精神科看護協会 福島県支部研修会	郡 山 市	2 7
(一社)日本精神科看護協会 本部研修会	港 区	1
(一社)日本精神科看護協会 認定看護師養成研修	港 区	1
(一社)日本精神科看護協会 東北精神科学術集会	秋 田 市	1
(一社)日本精神科看護協会 C V P P P トレーナー養成研修	花 巻 市	2
(社)福島県看護協会 ファーストレベル研修・聴講	郡 山 市	2
(社)福島県看護協会 医療安全管理者養成・フォローアップ研修会	郡 山 市	3
(社)福島県看護協会 保健師助産師看護師実習指導者講習会	郡 山 市	2
(社)福島県看護協会 新人看護職員研修関連研修会	郡 山 市	2
(社)福島県看護協会 総会・ジェネラリスト研修会	郡 山 市	1 6
(社)福島県看護協会 認知症対応能力向上研修会	郡 山 市	1
(社)福島県看護協会 福島県看護学会	郡 山 市	2
(社)福島県看護協会 県南支部研修会	白 河 市	6
3 全自病協・学会・その他		
自治体病院協議会 全国学会	千 葉 市	2
自治体病院協議会 精神科特別部会	神 戸 市	2
自治体病院精神科東北ブロック看護部長会	秋 田 市	3
自治体病院協議会 福島県支部学会	会 津 若 松 市	6
自治体病院協議会 看護部会研修会	郡 山 市	6
福島県精神医療懇話会	郡 山 市	4
日本精神保健学会	札 幌 市	1
認知症全国研究集会	郡 山 市	4
リハビリー全国フォーラム	豊 島 区	1
医療安全関係研修	福 島 市・郡 山 市	7
感染対策研修関係	福 島 市・郡 山 市	8
医療観察法通院医療等研修会	千 代 田 区	1
地域移行ネットワーク研修会	白 河 市	4
看護研究研修関係	千代田区・横浜市	2

14 児童思春期外来の実施状況

14- (1) 開設からの経緯

平成23年8月に児童思春期外来が開設され、完全予約制にて診療を行っています。

子どもたちの心の問題を専門に取り扱う医療機関や医師が不足している中、当院では、平成29年度より診療枠を増やし診療にあたっていますが、それでも初診まで数か月待ちとなっています。

また、新たな取り組みとして、平成29年4月より児童思春期外来「ふくしまモデル」がスタートし「ふくしまモデル」を基に、相談の段階から医療スタッフによる支援を行っています。治療プログラムとして、子どもたちのニーズに合わせ、児童デイケア、プレイセラピー、保護者の方への支援として医師、臨床心理士によるペアレントトレーニングやフォローアップ教室など支援の幅を広げて実施しています。さらに、関係機関とのネットワーク作りのため、シンポジウムや懇談会の開催、臨床心理士による養育者を対象としたミニレクチャー（1回/月）を行い啓蒙を図っています。

14- (2) 診療日・診療時間・担当医師

診療日	診療時間	担当医師
火曜日/毎週	13:00~15:00	石川大道医師
水曜日/毎週	9:00~15:00 13:00~15:00	外部応援医師 金澤壮一医師
木曜日/毎週	13:00~15:00	角田智哉医師
金曜日/毎週 金曜日/月	9:00~11:00 9:00~15:00	外部応援医師 外部応援医師
土曜日/第1・3	9:00~15:00	外部応援医師

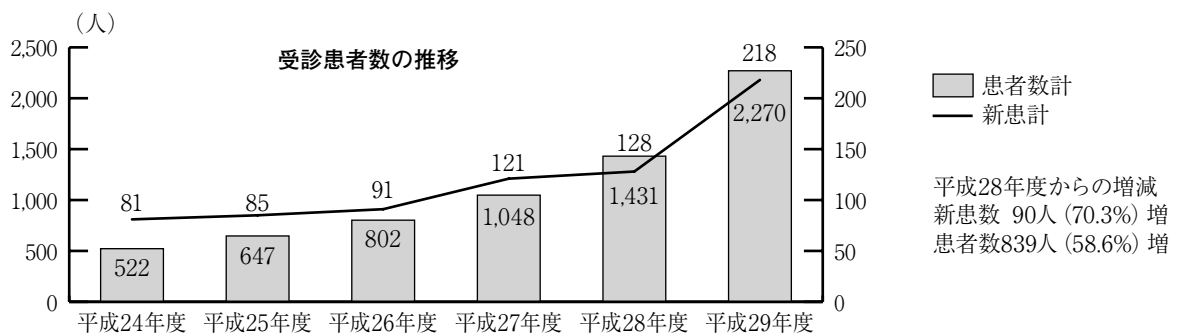
14- (3) 対象年齢・疾患

ア 対象年齢 3歳~18歳（高校卒業）まで

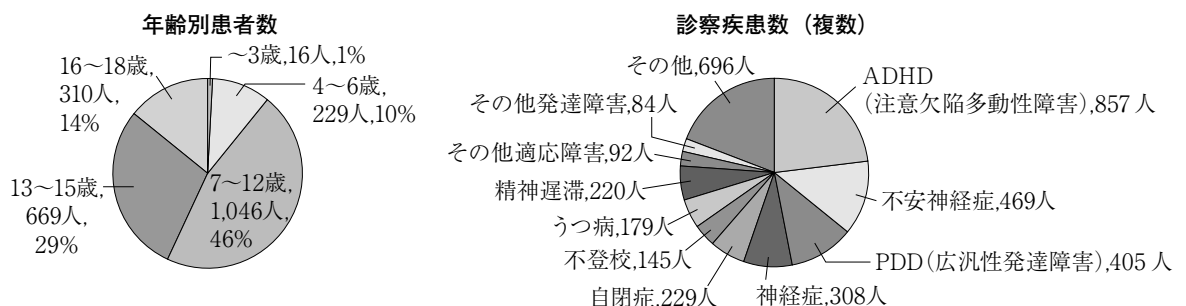
イ 対象疾患 発達障害（ADHD、自閉症など）、適応障害（不登校など）
習癖異常（チック、抜毛など）

14- (4) 外来受診状況

① 受診者数の推移



② 受診者の内訳（平成29年4月~平成30年3月）



15 地域医療連携の実施状況

15- (1) 業務内容

患者様やご家族が安心して医療サービスが利用できるように、皆様や地域の医療機関・福祉施設・保健所等と受診や入院・転院に掛かる相談の窓口を行っています。

- ①一般新患、児童・思春期外来の予約
- ②個人からの受診相談
- ③他の医療機関、行政機関等との相談・紹介・連絡・調整等
- ④通報、捜査関係事項照会、鑑定、救急搬送、アウトリーチ等の連絡・調整

15- (2) 実施状況

(単位：件)

(単位：件)

項 目	平成29年度
1 個人の受診予約・相談等	871
2 関係機関等との相談・紹介・連絡・調整等	937
3 通報・鑑定・捜査関係事項照会・救急搬送、アウトリーチ等の連絡・調整等	292

項 目	平成29年度
1 紹介患者数	267
2 逆紹介患者数	220

16 他機関への協力・援助状況

16- (1) 学校関係

ア 非常勤講師の派遣

区 分	教 科	時 間	担 当
白河医師会白河准看護学院	精神看護	20時間	主任看護技師 長久保益栄
白河医師会白河准看護学院	精神看護	10時間	主任看護技師 鈴木 圭子
公立岩瀬病院附属高等看護学院	精神看護	24時間	主任看護技師 長久保益栄

イ 実習生の受入れ

区 分	種 別	人 数	期 間
白河医師会白河准看護学院	看護学生	9	29. 9.25~10. 6
		10	29.11. 6~17
福島県立医大看護学部（課題別）	看護学生	4	29. 8.28~ 9.21
国際医療福祉大学 看護学科通信課程	看護学生	9	29. 5.17~18
公立岩瀬病院附属高等看護学院	看護学生	8	29. 6.12~30
		7	29. 7. 3~21
岩手リハビリテーション学院	OT学生	1	29. 4.10~ 6. 2
東北保健医療専門学校	OT学生	1	29. 8.28~10.17
郡山健康科学専門学校	OT学生	2	29. 6. 5~ 7.28
			29. 9. 4~10.27
東北福祉大学	OT学生	1	29. 5. 8~ 6.30
東北文化学園大学	OT学生	1	29. 5. 8~ 7.14
日本医療科学大学	OT学生	1	29. 5.15~ 7. 7
仙台保健福祉専門学校	OT学生	1	29. 5.15~ 7. 7
山形医療技術専門学校	OT学生	1	29. 7.31~ 9.23

16- (2) 県関係

区 分	種 別	回数	担 当
県中保健福祉事務所	心の健康相談	2	医 師
県南保健福祉事務所	心の健康相談	11	医 師
精神科救急医療システム連絡調整委員会	定期会議	1	院 長
福島県精神医療審査会	書類審査	6	院 長

16- (3) 市町村関係

区 分	種 別	回数	担 当
矢吹町教育委員会	心身障害児就学指導審議会	2	医師、心理判定員
矢吹町教育委員会	心身障害児心理検査、面接	4	心理判定員2名
泉崎村	心の相談会	24	心理判定員1名
白河市	発達相談会	7	医師
東白川地域	乳幼児発達相談会	2	医師
西白河地域	乳幼児発達相談会	2	医師、心理判定員1名

16- (4) 団体関係

区 分	種 別	回数	担 当
特別養護老人ホーム「寿光園」	嘱託診療	36	医 師
矢吹救護院天風寮「緑風園」	嘱託診療	24	医 師

16- (5) 講演会関係 (医師)

年月日	講演者名	演 題	講演場所	対 象 者
29. 6.30	横山 昇	「精神科の救急医療マニュアル」について	白河厚生総合病院	白河厚生総合病院職員、消防署員 他
29. 7. 6	金澤 壮一	「発達障害について」	塙町立塙保育園	東白川公立保育園職員
29. 7. 7	角田 智哉	「サイコロジカル・ファーストエイド研修」における講義	青森警察学校	青森県警察職員
29. 7.21	佐藤 浩司	精神保健福祉法23条通報における自傷他害のおそれの考え方及び精神障がい者の触法行為について	福島県保健衛生合同庁舎5階 (福島県精神保健福祉センターデイルーム)	管内警察署生活安全課職員・管内精神病院ケースワーカー等・市町村議員
29. 7.21	角田 智哉	「妊娠期から産後まで精神的不安を抱える方の支援策」	福島県県南保健福祉事務所 大会議室	管内市町村母子担当者及び医療機関の助産師 等
29. 8.25	佐藤 浩司	「精神科関連看護」	福島県看護会館 みらい	福島県内在住もしくは在勤している看護職 訪問看護を始めようとする者 訪問看護に従事している者 訪問看護の知識習得を目指す者
29. 8.26	佐藤 浩司	「精神疾患の理解」 「精神科訪問看護に必要な薬物療法の知識」	福島テルサ	訪問看護ステーションにおいて精神科訪問看護を実施するもの
29. 9.16	金澤 壮一	「発達障害について」	ビッグパレットふくしま	県内准看護学校の職員

29. 9.27	佐藤 浩司	「統合失調症の治療と症状について」	ミュージカルがくと館 (大ホール)	郡山保健所管内で統合失調症と診断され、治療中の方の家族
29.10.14	金澤 壮一	「こころの健康講演会～こころのケアのために、私たちができること～」	会津美里町役場	会津美里町一般住民
29.10.31	角田 智哉	「てんかん診療と地域連携」	東京第一ホテル新白河	福島県・白河地区の医師、薬剤師
29.11. 2	佐藤 浩司	「指定医療機関の役割及び地域との連携について」	福島保護観察所 (郡山市音楽・文化交流館)	福島県医療観察制度運営連絡協議会員
29.11. 7	角田 智哉	「サイコロジカル・ファーストエイド研修」における講義	青森警察学校	管内市町村母子担当者及び医療機関の助産師 等
29.12. 3	角田 智哉	「周産期におけるメンタルヘルスケア」	竹田総合病院	竹田総合病院及び近隣産婦人科などの助産師

16- (6) 院外研究発表

研修会名	年月日	場 所	発表者	演 題
日精看福島県支部看護研究発表会	29. 7.21	郡山市	高橋真貴子	A病院の薬物療法に関する院内研修受講者低迷の要因
			佐久間せい子	社会復帰病棟入院患者がひまわりの会へ求めること～精神科長期入院患者のインタビューから
福島県立病院看護研究発表会	29.12. 4	福島市	薄上 朋子	家族心理教育に参加した統合失調症の夫の気持ちや関わりの変化
			座間 靖子	粉薬服薬のシミュレーションから粉薬飛散の状況を知る
福島県看護協会	29.10.18	郡山市	大河原昌子	アウトリーチに連携する地域支援者と家族の思い～治療中断者が外来受診に至るまでの支援者の思い～

16- (7) 講演会関係 (臨床心理室)

研修会名	年月日	対 象	場 所	講 師
教育講演会「児童思春期外来と医療側からみたお子さんへの関わりのコツについて」	29.10.17	保護者 40名	白河第二小学校	吉田 英記
矢吹町要保護児童対策地域協議会「児童思春期外来と地域連携について」	29.11.10	要保護児童対策協議会実務者 30名	矢吹町文化センター	吉田 英記
県南地域若者の性の健康情報交換会講演「発達障害が気になる児への関わり方について～児童思春期外来でできること～」	29.11.17	県南地区中高養護教諭 30名	県南保健福祉事務所	吉田 英記
平田村教職員及び保護者向け研修会「子どもと大人の絆を深めるプログラムCARE」	30. 1.24	蓬田小学校保護者・教職員 30名	平田村立蓬田小学校	吉田 英記
発達障がい児支援者スキルアップ事業研修「CARE」	30. 2. 2	県南地区保育士 15名	県南保健福祉事務所	吉田 英記

平田村教職員及び保護者向け研修会 「子どもと大人の絆を深めるプログラム CARE」	30. 2.28	蓬田小学校保護者・ 教職員 30名	平田村立蓬田小学校	吉田 英記
発達障がい児支援者スキルアップ事業 研修「CARE」	30. 3.16	県南地区保育士 15名	県南保健福祉事務所	吉田 英記

17 家族会活動状況

17- (1) 一般的活動

年月日	活 動 内 容	参加者 (人数)
29.5.20	「つばさ会」総会出席	会長、事務局
29.6.23	家族会役員会及び家族会総会開催	会員 (5)、来賓 (1)
	家族会例会 (12/20)	
30.3.16	福島県精神保健福祉連絡会つばさ会県南支部事業 精神障がい者家族教室開催	17名参加

17- (2) 矢吹病院まつり開催協力 (10/29)

平成30年度病院概要

平成30年7月1日発行

発行 福島県立矢吹病院

院長 横山 昇

〒 969-0284 福島県西白河郡矢吹町滝八幡 100

TEL 0248-42-3111 (代)

FAX 0248-44-2551

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/yabuki/>

E-mail: yabuki.byouin@pref.fukushima.lg.jp
